

文学部歴史学科課程表

2023年度以降入学生適用

※開講学年前期後期欄

●－原則としてその学期で開講。
○○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
					1 年			2 年			3 年			4 年				
					前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
教 養 教 育 科 目	T G ベ ー シ ッ ク	人 間 的 基 礎	聖書を学ぶ	半期	●		2									◎		
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2									◎		
			キリスト教学A（キリスト教と倫理）	半期								2				} ◎	2 単位選択必修。4 単位まで卒業 単位に算入することができる。	
			キリスト教学B（キリスト教と宗教）	半期							2							
			キリスト教学C（キリスト教と文化）	半期							2							
			キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	半期							2							
			共生社会と倫理	半期				○	○	2						} ◎	2 単位選択必修	
			科学技術社会と倫理	半期				○	○	2								
			よき社会生活のためにA（法律）	半期	○	○	2									} ◎	2 単位選択必修	
			よき社会生活のためにB（福祉）	半期	○	○	2											
			よき社会生活のためにC（健康）	半期	○	○	2											
		知 的 基 礎	リーディング&ライティング	半期	○	○	2									} ◎	2 単位選択必修	
			クリティカル・シンキング	半期	○	○	2											
			情報リテラシー	半期	○	○	2									◎		
			統計的思考の基礎	半期	○	○	2									} ◎	2 単位選択必修	
			科学的思考の基礎	半期	○	○	2											
	課 題 探 究	キャリア形成の探究	半期	○	○	2									} ◎	6 単位選択必修		
		東北学院史の探究	半期							○	○	2						
		データ活用による探究	半期				○	○	2									
		地域ボランティア活動の探究	半期	○	○	2												
		地域課題の探究	半期				○	○	2									
		課題探究演習	半期		●	2												
		共 通 教 養 科 目	人 文 系	哲学	半期	○	○	2									} ◎	4 単位選択必修
	芸術論			半期	○	○	2											
	文化の歴史			半期	○	○	2											
	音楽			半期	○	○	2											
	倫理学			半期	○	○	2											
	文学			半期	○	○	2											
	歴史学			半期	○	○	2											
	文化人類学			半期	○	○	2											
	言語論			半期	○	○	2											
	社 会 系		心理学	半期	○	○	2									} ◎	4 単位選択必修	
社会学			半期	○	○	2												
経営学			半期	○	○	2												
経済学			半期	○	○	2												
法学			半期	○	○	2												
日本国憲法			半期	○	○	2												
現代の政治			半期	○	○	2												
地理学			半期	○	○	2												
社会福祉論			半期	○	○	2												
ジェンダー論			半期	○	○	2												
自 然 系	東北地域論	半期	○	○	2									} ◎	4 単位選択必修			
	数理の科学	半期	○	○	2													
	記号論理学	半期	○	○	2													
	生命の科学	半期	○	○	2													
	環境の科学	半期	○	○	2													
	自然の科学	半期	○	○	2													
	先端科学と技術	半期	○	○	2													
AI社会の基礎	半期	○	○	2														

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
外国語科目	第 1 類	英語Ⅰ A	半期	●		1									◎		
		英語Ⅰ B	半期		●	1									◎		
		英語Ⅱ A	半期				●		1						◎		
		英語Ⅱ B	半期					●	1						◎		
	第 2 類	ドイツ語Ⅰ A	半期	●		2									} ◎	週 2 回開講 2 単位選択必修	
		フランス語Ⅰ A	半期	●		2											
		中国語Ⅰ A	半期	●		2											
		韓国・朝鮮語Ⅰ A	半期	●		2											
		ドイツ語Ⅰ B	半期		●	2										週 2 回開講。B の選択にあたっては A と同一外国語を履修すること。	
		フランス語Ⅰ B	半期		●	2											
		中国語Ⅰ B	半期		●	2											
		韓国・朝鮮語Ⅰ B	半期		●	2											
		ドイツ語Ⅱ A	半期				●		1							Ⅱ の選択にあたってはⅠ と同一外国語を履修すること。	
		フランス語Ⅱ A	半期				●		1								
		中国語Ⅱ A	半期				●		1								
		韓国・朝鮮語Ⅱ A	半期				●		1								
		ドイツ語コミュニケーション A	半期				●		1							コミュニケーションの選択にあたっては、Ⅰ と同一外国語を履修すること。	
		フランス語コミュニケーション A	半期				●		1								
		中国語コミュニケーション A	半期				●		1								
		韓国・朝鮮語コミュニケーション A	半期				●		1								
		ドイツ語Ⅱ B	半期					●		1						Ⅱ の選択にあたってはⅠ と同一外国語を履修すること。	
		フランス語Ⅱ B	半期					●		1							
		中国語Ⅱ B	半期					●		1							
		韓国・朝鮮語Ⅱ B	半期					●		1							
		ドイツ語コミュニケーション B	半期					●		1						コミュニケーションの選択にあたっては、Ⅰ と同一外国語を履修すること。	
		フランス語コミュニケーション B	半期					●		1							
		中国語コミュニケーション B	半期					●		1							
		韓国・朝鮮語コミュニケーション B	半期					●		1							
		ドイツ語Ⅲ A	半期							●		1				Ⅲ の選択にあたってはⅡ と同一外国語を履修すること。	
		フランス語Ⅲ A	半期							●		1					
		中国語Ⅲ A	半期							●		1					
		韓国・朝鮮語Ⅲ A	半期							●		1					
	ドイツ語Ⅲ B	半期								●	1						
	フランス語Ⅲ B	半期								●	1						
	中国語Ⅲ B	半期								●	1						
	韓国・朝鮮語Ⅲ B	半期								●	1						
第 3 類	ベーシック英語	半期	●		1									「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修後に 1 年後期開講の「英語Ⅰ A」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」は進級・卒業要件に含まない。			
	英語コミュニケーション	半期	○	○	2								週 2 回開講				
	英語Ⅲ A	半期						●		1							
	英語Ⅲ B	半期							●	1							
保健体育科目	スポーツ実技 A	半期	○	○	1												
	スポーツ実技 B	半期	○	○	1												
	体育講義	半期	○	○	2												
留学科目	海外研究 A	通年						4						4 単位まで卒業単位に算入			
	海外研究 B	半期			2												
	海外研究 C	半期			1												
外国人及び 帰国生科目	日本語Ⅰ A	半期	●		1												
	日本語Ⅰ B	半期		●	1												
	日本語Ⅱ A	半期				●		1									
	日本語Ⅱ B	半期					●	1									

※開講学年前期後期欄 { ●－原則としてその学期で開講。
 ○○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
専 門 教 育 科 目	第 1 類 （ 演 習 ）	入門演習Ⅰ	半期	●		2											
		入門演習Ⅱ	半期		●	2											
		基礎演習Ⅰ	半期				●		2							◎	
		基礎演習Ⅱ	半期					●	2							◎	
		日本史総合演習Ⅰ	半期							●		2				◎	2 単位選択必修。
		アジア史総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		ヨーロッパ史総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		考古学総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		民俗学総合演習Ⅰ	半期							●		2				◎	2 単位選択必修。Ⅱの選択にあたっては、Ⅰと同一教員担当のものとする。
		日本史総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		アジア史総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		ヨーロッパ史総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		考古学総合演習Ⅱ	半期								●	2				◎	2 単位選択必修。論文演習の選択にあたっては、前年度履修した総合演習と同一教員担当のものとする。
		民俗学総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		日本史論文演習Ⅰ	半期										●		2		
		アジア史論文演習Ⅰ	半期										●		2		
		ヨーロッパ史論文演習Ⅰ	半期										●		2	◎	2 単位選択必修。Ⅱの選択にあたっては、Ⅰと同一教員担当のものとする。
		考古学論文演習Ⅰ	半期										●		2		
		民俗学論文演習Ⅰ	半期										●		2		
		日本史論文演習Ⅱ	半期											●	2		
		アジア史論文演習Ⅱ	半期											●	2	◎	2 単位選択必修。Ⅱの選択にあたっては、Ⅰと同一教員担当のものとする。
		ヨーロッパ史論文演習Ⅱ	半期											●	2		
		考古学論文演習Ⅱ	半期											●	2		
		民俗学論文演習Ⅱ	半期											●	2		
	第 2 類 （ 講 義 ）	日本史概説Ⅰ	半期	●		2										◎	5 分野（「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」・「アジア史概説Ⅰ・Ⅱ」・「ヨーロッパ史概説Ⅰ・Ⅱ」・「考古学概説Ⅰ・Ⅱ」・「民俗学概説Ⅰ・Ⅱ」）から 4 分野（8 科目 16 単位）以上選択必修
		日本史概説Ⅱ	半期		●	2											
		アジア史概説Ⅰ	半期	●		2											
		アジア史概説Ⅱ	半期		●	2											
		ヨーロッパ史概説Ⅰ	半期	●		2											
		ヨーロッパ史概説Ⅱ	半期		●	2											
		考古学概説Ⅰ	半期	●		2											
		考古学概説Ⅱ	半期		●	2											
		民俗学概説Ⅰ	半期	●		2											
		民俗学概説Ⅱ	半期		●	2											
		歴史の中の東北	半期					●	2								
		江戸から明治へ	半期					●	2								
		イスラーム世界の形成と展開	半期					●	2								
		伝統アジアの社会と文化	半期					●	2								
		ヨーロッパ近現代の国家と社会	半期						●	2							
		アジアにおける国家の誕生	半期								●	2					
近現代日本と東アジア		半期								●	2						
ヨーロッパ中近世社会史		半期								●	2						
アジアの王権と思想		半期									●	2					
日本史の諸問題Ⅰ		半期								●	2						
日本史の諸問題Ⅱ		半期									●	2					
アジア史の諸問題Ⅰ		半期								●	2						
アジア史の諸問題Ⅱ		半期									●	2					
ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ		半期								●	2						
ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ		半期									●	2					
考古学の諸問題Ⅰ		半期								●	2						
考古学の諸問題Ⅱ	半期									●	2						
民俗学の諸問題Ⅰ	半期								●	2							
民俗学の諸問題Ⅱ	半期									●	2						

※開講学年前期後期欄 { ●－原則としてその学期で開講。
 ○○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 } ◎印－選択必修科目	
専 門 教 育 科 目	第 3 類 （ 講 読 ・ 実 習 ）	古文書学Ⅰ	半期				●		2								
		古文書学Ⅱ	半期					●	2								
		アジア史基礎講読Ⅰ	半期				●		2								
		アジア史基礎講読Ⅱ	半期					●	2								
		ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ	半期				●		2								
		ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ	半期					●	2								
		民俗学調査入門Ⅰ	半期				●		1								
		民俗学調査入門Ⅱ	半期					●	1								
		考古学実習Ⅰ	半期				●		2								
		ギリシア語初級Ⅰ	半期				●		2								
		ギリシア語初級Ⅱ	半期					●	2								
		日本史専門講読Ⅰ	半期							●		2					
		日本史専門講読Ⅱ	半期								●	2					
		日本史専門講読Ⅲ	半期										●		2		
		アジア史専門講読Ⅰ	半期							●		2					
		アジア史専門講読Ⅱ	半期								●	2					
		アジア史専門講読Ⅲ	半期										●		2		
		ヨーロッパ史専門講読Ⅰ	半期							●		2					
		ヨーロッパ史専門講読Ⅱ	半期								●	2					
		ヨーロッパ史専門講読Ⅲ	半期										●		2		
		考古学実習Ⅱ	半期							●		2					
		考古学実習Ⅲ	半期								●	2					
		民俗学実習Ⅰ	半期							●		2					
		民俗学実習Ⅱ	半期								●	2					
		ラテン語初級Ⅰ	半期							●		2					
		ラテン語初級Ⅱ	半期								●	2					
		ギリシア語中級Ⅰ	半期							●		2					
		ギリシア語中級Ⅱ	半期								●	2					
		ラテン語中級Ⅰ	半期										●		2		
		ラテン語中級Ⅱ	半期											●	2		
	第 4 類 （ 隣 接 科 目 ）	地誌学Ⅰ	半期						2							・学芸員、司書、社会教育主事資格 を得るための履修方法は、大学要 覧（学芸員課程、司書課程、社会 教育主事課程）を参照のこと。	
		地誌学Ⅱ	半期						2								
		日本文学史Ⅰ	半期				●		2								
		日本文学史Ⅱ	半期					●	2								
		自然地理学Ⅰ	半期							●		2					
		自然地理学Ⅱ	半期								●	2					
人文地理学Ⅰ		半期							●		2						
人文地理学Ⅱ		半期								●	2						
日本美術史		半期								●	2						
ヨーロッパ美術史		半期							●		2						
生活文化史Ⅰ		半期							●		2						
生活文化史Ⅱ		半期								●	2						
日本経済史Ⅰ		半期							●		2						
日本経済史Ⅱ		半期								●	2						
西洋経済史Ⅰ		半期							●		2						
西洋経済史Ⅱ		半期								●	2						
日本思想史Ⅰ	半期							●		2							
日本思想史Ⅱ	半期								●	2							

文学部歴史学科課程表（資格科目）

2023年度以降入学生適用

※開講学年前期後期欄

●－原則としてその学期で開講。
○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			☆印－必修科目 ☆印－選択必修科目	
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2										☆	
	教育基礎論	半期	●		2										☆	社会教育主事課程と共通
	教育の制度と経営	半期		●	2										☆	
	教育心理学	半期						2							☆	
	教育課程論	半期				●		2							☆	
	道德教育の理論と方法	半期						2							☆	中学校教育職員免許状取得に必修
	教育の方法と技術	半期						2							☆	※教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧（教職課程）を参照のこと
	ICT活用の理論と方法	半期									2				☆	
	教育相談の理論と方法	半期						2							☆	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							☆	
	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）	半期					●	2							☆	
	社会・公民科教育法（概論・理論）	半期					●	2							☆	
	社会・地理歴史科教育法（実践）	半期								●	2				☆	
	社会・公民科教育法（実践）	半期								●	2				☆	
	社会・地理歴史科教育法（応用）	半期							●		2				☆	
	社会・公民科教育法（応用）	半期							●		2				☆	
	特別支援教育論	半期									2				☆	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2				☆	
	介護体験実習	通年									2				☆	中学校教育職員免許状取得に必修
	教育実習Ⅰ	通年												3	☆	
	教育実習Ⅱ	通年												2	☆	中学校教育職員免許状取得に必修
	教職実践演習（中・高）	半期											●	2	☆	
学 芸 員 に 関 する 科 目	博物館概論	半期	●		2										☆	社会教育主事課程と共通
	博物館教育論	半期			2										☆	社会教育主事課程と共通
	生涯学習概論Ⅰ	半期				●		2							☆	社会教育主事課程・司書課程と共通
	生涯学習概論Ⅱ	半期					●	2							☆	社会教育主事課程と共通
	博物館経営論	半期						2							☆	
	博物館資料論	半期				●		2							☆	
	博物館資料保存論	半期									2				☆	※学芸員資格を得るための履修方法は、大学要覧（学芸員課程）を参照のこと
	博物館展示論	半期									2				☆	
	博物館情報・メディア論	半期									2				☆	
	博物館実習Ⅰ（学内実習）	通年							●	●	1				☆	
	博物館実習Ⅱ（見学実習）	通年							●	●	1				☆	
	博物館実習Ⅲ（館園実習）	通年							●	●	1				☆	
司 書 に 関 する 科 目	図書館概論	半期				●		2							☆	社会教育主事課程と共通
	図書館情報技術論	半期									2				☆	※司書資格、司書教諭資格を得るための履修方法は、大学要覧（司書課程）を参照のこと
	図書館サービス概論	半期									2				☆	
	情報資源組織論	半期									2				☆	
	図書・図書館史	半期									2					
	図書館情報資源概論	半期								●	2				☆	
	図書館制度・経営論	半期											2		☆	社会教育主事課程と共通
	情報サービス論	半期											2		☆	
	情報サービス演習A	半期											1		☆	
	情報サービス演習B	半期											1		☆	
	情報資源組織演習	通年										●	●	2	☆	
	図書館情報資源特論	半期											1			
	図書館施設論	半期											1			
司 書 教 諭 に 関 する 科 目	学校経営と学校図書館	半期									2				☆	司書課程と共通
	学校図書館メディアの構成	半期									2				☆	
	学習指導と学校図書館	半期									2				☆	司書課程と共通
	読書と豊かな人間性	半期									2				☆	司書課程と共通
	情報メディアの活用	半期									2				☆	

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			☆印—必修科目 ☆印—選択必修科目	
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
社会教育主事に関する科目	SDGsとシティズンシップ論	半期							●		2				※社会教育主事資格を得るための履修方法は、大学要覧（社会教育主事課程）を参照のこと	
	市民活動論	半期			2											
	生涯学習支援論	通年							●	●	4					☆
	社会教育実習Ⅰ	半期							●		1				☆	
	社会教育実習Ⅱ	半期								●	1				社会教育課題研究4単位又は社会教育実習Ⅱ1単位と教育調査実習A2単位及び教育調査実習B2単位の合計5単位のいずれか選択必修	
	社会教育課題研究	通年							●	●	4					
	教育調査実習A	半期									2					
	教育調査実習B	半期									2					
	現代社会と社会教育	半期									2					
	地域文化論	半期									2					
	地域社会論	半期									2					
	社会教育経営論	通年										●	●	4	☆	

歴史学科卒業要件（2023 年度以降入学生）

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	34
		知的基礎	6	
		課題探究	6	
	共通教養科目	人文系	4	
		社会系	4	
		自然系	4	
外国語科目	第 1 類（必修）		4	6
	第 2 類		2	
専門教育科目	第 1 類（演習）		12	54
	第 2 類（講義）		32	
	第 3 類（講読・実習）		6	
	第 4 類（隣接科目）		4	
教養教育科目 外国語科目第 2 類・第 3 類（「ベーシック英語」を除く） 保健体育科目 留学科目（4 単位まで） 専門教育科目 他学部・他学科開講専門教育科目 協定を締結している他大学開講科目				30
合 計				124

歴史学科進級要件（2023 年度以降入学生）

・3 年次への進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目	22 単位
外国語科目	4 単位
専門教育科目	22 単位
合 計	48 単位

〈カリキュラムマップの見方〉

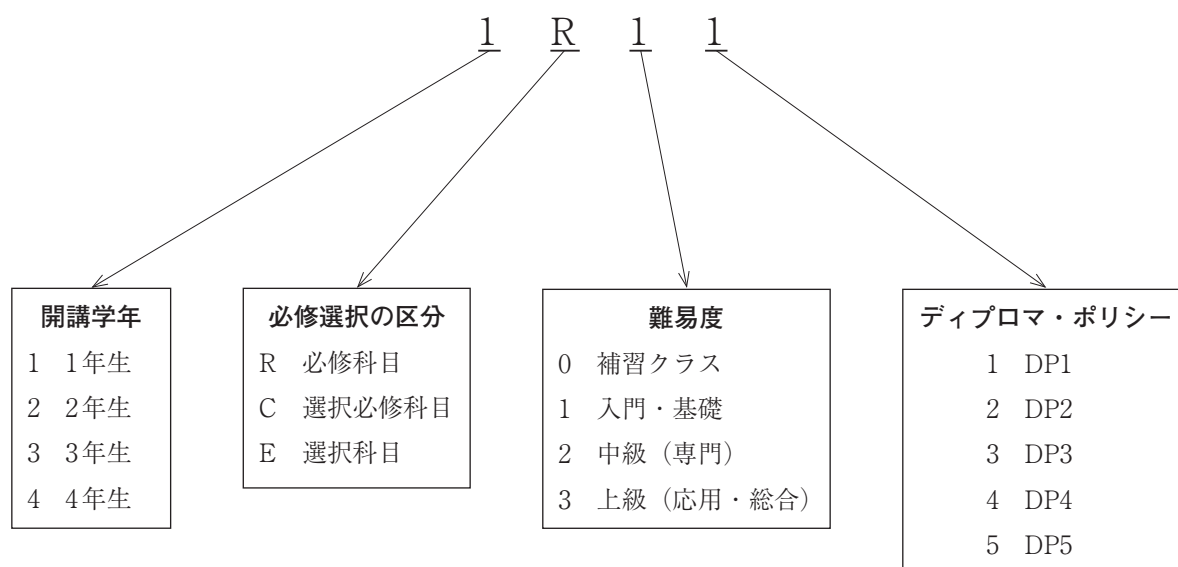
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 文学部 歴史学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる (汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎				
3C21	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎				
3C21	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎				
3C21	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のためにA (法律)	◎			○	
1C11	よき社会生活のためにB (福祉)	◎			○	
1C11	よき社会生活のためにC (健康)	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1C14	哲学				◎	
1C14	芸術論	○			◎	
1C14	文化の歴史				◎	
1C14	音楽	○			◎	
1C14	倫理学				◎	
1C14	文学				◎	
1C14	歴史学	○			◎	
1C14	文化人類学	○			◎	
1C14	言語論				◎	
1C14	心理学				◎	
1C14	社会学				◎	
1C14	経営学				◎	
1C14	経済学				◎	
1C14	法学				◎	
1C14	日本国憲法	○			◎	
1C14	現代の政治	○			◎	
1C14	地理学				◎	
1C14	社会福祉論				◎	
1C14	ジェンダー論				◎	
1C14	東北地域論				◎	
1C14	数理の科学				◎	
1C14	記号論理学		○		◎	
1C14	生命の科学				◎	
1C14	環境の科学				◎	
1C14	自然の科学				◎	
1C14	先端科学と技術				◎	
1C14	AI社会の基礎		○		◎	
1R12	英語ⅠA		◎		○	
1R12	英語ⅠB		◎		○	
2R22	英語ⅡA		◎		○	
2R22	英語ⅡB		◎		○	
1C12	ドイツ語ⅠA		◎		○	
1C12	フランス語ⅠA		◎		○	
1C12	中国語ⅠA		◎		○	
1C12	韓国・朝鮮語ⅠA		◎		○	
1E12	ドイツ語ⅠB		◎		○	
1E12	フランス語ⅠB		◎		○	
1E12	中国語ⅠB		◎		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
1E12	韓国・朝鮮語ⅠB		○		○	
2E22	ドイツ語ⅡA		○		○	
2E22	フランス語ⅡA		○		○	
2E22	中国語ⅡA		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語ⅡA		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーションA		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーションA		○		○	
2E22	中国語コミュニケーションA		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーションA		○		○	
2E22	ドイツ語ⅡB		○		○	
2E22	フランス語ⅡB		○		○	
2E22	中国語ⅡB		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語ⅡB		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーションB		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーションB		○		○	
2E22	中国語コミュニケーションB		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーションB		○		○	
3E32	ドイツ語ⅢA		○		○	
3E32	フランス語ⅢA		○		○	
3E32	中国語ⅢA		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語ⅢA		○		○	
3E32	ドイツ語ⅢB		○		○	
3E32	フランス語ⅢB		○		○	
3E32	中国語ⅢB		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語ⅢB		○		○	
1E02	ベーシック英語		○		○	
1E12	英語コミュニケーション		○		○	
3E32	英語ⅢA		○		○	
3E32	英語ⅢB		○		○	
1E11	スポーツ実技A	○				
1E11	スポーツ実技B	○				
1E12	体育講義		○			
2E32	海外研究A		○		○	
1E22	海外研究B		○		○	
1E12	海外研究C		○		○	
1E12	日本語ⅠA		○			
1E12	日本語ⅠB		○			
2E12	日本語ⅡA		○			
2E12	日本語ⅡB		○			
1E13	入門演習Ⅰ		○	○		
1E13	入門演習Ⅱ		○	○		
2R13	基礎演習Ⅰ			○		
2R13	基礎演習Ⅱ			○		
3C23	日本史総合演習Ⅰ			○		
3C23	アジア史総合演習Ⅰ			○		
3C23	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ			○		
3C23	考古学総合演習Ⅰ			○		
3C23	民俗学総合演習Ⅰ			○		
3C23	日本史総合演習Ⅱ			○		
3C23	アジア史総合演習Ⅱ			○		
3C23	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ			○		
3C23	考古学総合演習Ⅱ			○		
3C23	民俗学総合演習Ⅱ			○		
4C33	日本史論文演習Ⅰ			○		
4C33	アジア史論文演習Ⅰ			○		
4C33	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ			○		
4C33	考古学論文演習Ⅰ			○		
4C33	民俗学論文演習Ⅰ			○		
4C33	日本史論文演習Ⅱ			○		
4C33	アジア史論文演習Ⅱ			○		

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
4C33	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ			◎		
4C33	考古学論文演習Ⅱ			◎		
4C33	民俗学論文演習Ⅱ			◎		
1C15	日本史概説Ⅰ	○				◎
1C15	日本史概説Ⅱ	○				◎
1C15	アジア史概説Ⅰ	○				◎
1C15	アジア史概説Ⅱ	○				◎
1C15	ヨーロッパ史概説Ⅰ	○				◎
1C15	ヨーロッパ史概説Ⅱ	○				◎
1C15	考古学概説Ⅰ	○				◎
1C15	考古学概説Ⅱ	○				◎
1C15	民俗学概説Ⅰ	○				◎
1C15	民俗学概説Ⅱ	○				◎
2E25	歴史の中の東北				○	◎
2E25	江戸から明治へ				○	◎
2E25	イスラーム世界の形成と展開				○	◎
2E25	伝統アジアの社会と文化				○	◎
2E25	ヨーロッパ近現代の国家と社会				○	◎
3E25	アジアにおける国家の誕生				○	◎
3E25	近現代日本と東アジア				○	◎
3E25	ヨーロッパ中近世社会史				○	◎
3E25	アジアの王権と思想				○	◎
3E25	日本史の諸問題Ⅰ				○	◎
3E25	日本史の諸問題Ⅱ				○	◎
3E25	アジア史の諸問題Ⅰ				○	◎
3E25	アジア史の諸問題Ⅱ				○	◎
3E25	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ				○	◎
3E25	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ				○	◎
3E25	考古学の諸問題Ⅰ				○	◎
3E25	考古学の諸問題Ⅱ				○	◎
3E25	民俗学の諸問題Ⅰ				○	◎
3E25	民俗学の諸問題Ⅱ				○	◎
2E12	古文書学Ⅰ		◎	○		
2E12	古文書学Ⅱ		◎	○		
2E12	アジア史基礎講読Ⅰ		◎	○		
2E12	アジア史基礎講読Ⅱ		◎	○		
2E12	ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ		◎	○		
2E12	ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ		◎	○		
2E12	民俗学調査入門Ⅰ		◎	○		
2E12	民俗学調査入門Ⅱ		◎	○		
2E12	考古学実習Ⅰ		◎	○		
2E12	ギリシア語初級Ⅰ		◎	○		
2E12	ギリシア語初級Ⅱ		◎	○		
3E22	日本史専門講読Ⅰ		◎	○		
3E22	日本史専門講読Ⅱ		◎	○		
4E32	日本史専門講読Ⅲ		◎	○		
3E22	アジア史専門講読Ⅰ		◎	○		
3E22	アジア史専門講読Ⅱ		◎	○		
4E32	アジア史専門講読Ⅲ		◎	○		
3E22	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ		◎	○		
3E22	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ		◎	○		
4E32	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ		◎	○		
3E22	考古学実習Ⅱ		◎	○		
3E22	考古学実習Ⅲ		◎	○		
3E22	民俗学実習Ⅰ		◎	○		
3E22	民俗学実習Ⅱ		◎	○		
3E12	ラテン語初級Ⅰ		◎	○		
3E12	ラテン語初級Ⅱ		◎	○		
3E22	ギリシア語中級Ⅰ		◎	○		
3E22	ギリシア語中級Ⅱ		◎	○		

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
4E22	ラテン語中級Ⅰ		◎	○		
4E22	ラテン語中級Ⅱ		◎	○		
2E24	地誌学Ⅰ	○			◎	○
2E24	地誌学Ⅱ	○			◎	○
2E24	日本文学史Ⅰ	○			◎	○
2E24	日本文学史Ⅱ	○			◎	○
3E24	自然地理学Ⅰ	○			◎	○
3E24	自然地理学Ⅱ	○			◎	○
3E24	人文地理学Ⅰ	○			◎	○
3E24	人文地理学Ⅱ	○			◎	○
3E24	日本美術史	○			◎	○
3E24	ヨーロッパ美術史	○			◎	○
3E24	生活文化史Ⅰ	○			◎	○
3E24	生活文化史Ⅱ	○			◎	○
3E24	日本経済史Ⅰ	○			◎	○
3E24	日本経済史Ⅱ	○			◎	○
3E24	西洋経済史Ⅰ	○			◎	○
3E24	西洋経済史Ⅱ	○			◎	○
3E24	日本思想史Ⅰ	○			◎	○
3E24	日本思想史Ⅱ	○			◎	○
1E14	現代教職論				◎	
1E14	教育基礎論				◎	
1E14	教育の制度と経営				◎	
2E24	教育心理学				◎	
2E24	教育課程論				◎	
2E24	道德教育の理論と方法				◎	
2E24	教育の方法と技術				◎	
3E34	ＩＣＴ活用の理論と方法				◎	
2E24	教育相談の理論と方法				◎	
2E24	生徒指導・進路指導の理論と方法				◎	
2E35	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）				◎	
2E35	社会・公民科教育法（概論・理論）					◎
3E35	社会・地理歴史科教育法（実践）					◎
3E35	社会・公民科教育法（実践）					◎
3E35	社会・地理歴史科教育法（応用）					◎
3E35	社会・公民科教育法（応用）					◎
3E34	特別支援教育論				◎	
3E34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				◎	
3E24	介護体験実習				◎	
4E33	教育実習Ⅰ			◎		
4E33	教育実習Ⅱ			◎		
4E33	教職実践演習（中・高）			◎		
1E14	博物館概論				◎	
1E14	博物館教育論				◎	
2E14	生涯学習概論Ⅰ				◎	
2E14	生涯学習概論Ⅱ				◎	
2E14	博物館経営論				◎	
2E24	博物館資料論				◎	
3E24	博物館資料保存論				◎	
3E24	博物館展示論				◎	
3E24	博物館情報・メディア論				◎	
3E33	博物館実習Ⅰ（学内実習）			◎		
3E33	博物館実習Ⅱ（見学実習）			◎		
3E33	博物館実習Ⅲ（館園実習）			◎		
2E14	図書館概論				◎	
3E24	図書館情報技術論				◎	
3E24	図書館サービス概論				◎	
3E24	情報資源組織論				◎	
3E24	図書・図書館史				◎	
3E24	図書館情報資源概論				◎	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
4E34	図書館制度・経営論				○	
4E34	情報サービス論				○	
4E34	情報サービス演習 A				○	
4E34	情報サービス演習 B				○	
4E34	情報資源組織演習				○	
4E34	図書館情報資源特論				○	
4E34	図書館施設論				○	
3E24	学校経営と学校図書館				○	
3E24	学校図書館メディアの構成				○	
3E24	学習指導と学校図書館				○	
3E24	読書と豊かな人間性				○	
3E24	情報メディアの活用				○	
3E24	S D G s とシティズンシップ論				○	
1E14	市民活動論				○	
3E24	生涯学習支援論				○	
3E33	社会教育実習 I			○		
3E33	社会教育実習 II			○		
3E33	社会教育課題研究			○		
3E33	教育調査実習 A			○		
3E33	教育調査実習 B			○		
3E24	現代社会と社会教育				○	
3E24	地域文化論				○	
3E24	地域社会論				○	
4E34	社会教育経営論				○	

(2) 文学部 歴史学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果				
		1	2	3	4	5
		日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学における基本的知識、またそれぞれの研究分野に固有の思考方法について、概要を説明することができる。(知識・理論の基礎)	歴史学、考古学、民俗学に関する専門性の高い学術論文を読解するとともに、主体的に史・資料を収集し、それをふまえた柔軟な発想と論理的思考、説得力のある表現を用いて、学術的な文章を作成することができる。(学術研究の技能)	歴史学、考古学、民俗学の知識や思考方法をもとに課題を発見し、現代社会が直面する様々な問題について、史・資料をふまえた発言や議論、解決方法を提示することができる。(問題の発見と解決)	現代社会の歴史的な成り立ちを押さえつつ、国際的な広い視野をもって今日の地域社会とそれをめぐる問題について理解し、自らが何をすべきかを考え、社会に貢献することができる。(歴史学的な視野)	実習や史料調査などの経験を通して、自らの特性を活かしつつ共同作業に対して主体的に関与していく中で、真摯な態度と地道な努力を継続する力を持つとともに、共通の課題に対してチームで成果を出すことができる。(協調性・継続力)
1E13	入門演習Ⅰ		◎			○
1E13	入門演習Ⅱ		◎			○
2R13	基礎演習Ⅰ		◎			○
2R13	基礎演習Ⅱ		◎			○
3C23	日本史総合演習Ⅰ		○	◎		○
3C23	アジア史総合演習Ⅰ		○	◎		○
3C23	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ		○	◎		○
3C23	考古学総合演習Ⅰ		○	◎		○
3C23	民俗学総合演習Ⅰ		○	◎		○
3C23	日本史総合演習Ⅱ		○	◎		○
3C23	アジア史総合演習Ⅱ		○	◎		○
3C23	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ		○	◎		○
3C23	考古学総合演習Ⅱ		○	◎		○
3C23	民俗学総合演習Ⅱ		○	◎		○
4C33	日本史論文演習Ⅰ		○	◎	○	
4C33	アジア史論文演習Ⅰ		○	◎	○	
4C33	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ		○	◎	○	
4C33	考古学論文演習Ⅰ		○	◎	○	
4C33	民俗学論文演習Ⅰ		○	◎	○	
4C33	日本史論文演習Ⅱ		○	◎	○	
4C33	アジア史論文演習Ⅱ		○	◎	○	
4C33	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ		○	◎	○	
4C33	考古学論文演習Ⅱ		○	◎	○	
4C33	民俗学論文演習Ⅱ		○	◎	○	
1C15	日本史概説Ⅰ	◎			○	
1C15	日本史概説Ⅱ	◎			○	
1C15	アジア史概説Ⅰ	◎			○	
1C15	アジア史概説Ⅱ	◎			○	
1C15	ヨーロッパ史概説Ⅰ	◎			○	
1C15	ヨーロッパ史概説Ⅱ	◎			○	
1C15	考古学概説Ⅰ	◎			○	
1C15	考古学概説Ⅱ	◎			○	
1C15	民俗学概説Ⅰ	◎			○	
1C15	民俗学概説Ⅱ	◎			○	
2E25	歴史の中の東北	◎	○		○	
2E25	江戸から明治へ	◎	○		○	
2E25	イスラーム世界の形成と展開	◎	○		○	
2E25	伝統アジアの社会と文化	◎	○		○	
2E25	ヨーロッパ近現代の国家と社会	◎	○		○	
3E25	アジアにおける国家の誕生	◎	○		○	
3E25	近現代日本と東アジア	◎	○		○	
3E25	ヨーロッパ中近世社会史	◎	○		○	
3E25	アジアの王権と思想	◎	○		○	
3E25	日本史の諸問題Ⅰ	○	○		◎	
3E25	日本史の諸問題Ⅱ	○	○		◎	
3E25	アジア史の諸問題Ⅰ	○	○		◎	
3E25	アジア史の諸問題Ⅱ	○	○		◎	
3E25	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ	○	○		◎	
3E25	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ	○	○		◎	
3E25	考古学の諸問題Ⅰ	○	○		◎	
3E25	考古学の諸問題Ⅱ	○	○		◎	
3E25	民俗学の諸問題Ⅰ	○	○		◎	
3E25	民俗学の諸問題Ⅱ	○	○		◎	

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果				
		1	2	3	4	5
		日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学における基本的知識、またそれぞれの研究分野に固有の思考方法について、概要を説明することができる。(知識・理論の基礎)	歴史学、考古学、民俗学に関する専門性の高い学術論文を読解するとともに、主体的に史・資料を収集し、それをふまえた柔軟な発想と論理的思考、説得力のある表現を用いて、学術的な文章を作成することができる。(学術研究の技能)	歴史学、考古学、民俗学の知識や思考方法をもとに課題を発見し、現代社会が直面する様々な問題について、史・資料をふまえた発言や議論、解決方法を提示することができる。(問題の発見と解決)	現代社会の歴史的な成り立ちを押さえつつ、国際的な広い視野をもって今日の地域社会とそれをめぐる問題について理解し、自らが何をすべきかを考え、社会に貢献することができる。(歴史学的な視野)	実習や史料調査などの経験を通して、自らの特性を活かしつつ共同作業に対して主体的に関与していく中で、真摯な態度と地道な努力を継続する力を持つとともに、共通の課題に対してチームで成果を出すことができる。(協調性・継続力)
2E12	古文書学Ⅰ			○		◎
2E12	古文書学Ⅱ			○		◎
2E12	アジア史基礎講読Ⅰ			○		◎
2E12	アジア史基礎講読Ⅱ			○		◎
2E12	ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ			○		◎
2E12	ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ			○		◎
2E12	民俗学調査入門Ⅰ			○		◎
2E12	民俗学調査入門Ⅱ			○		◎
2E12	考古学実習Ⅰ			○		◎
2E12	ギリシア語初級Ⅰ			○		◎
2E12	ギリシア語初級Ⅱ			○		◎
3E22	日本史専門講読Ⅰ			○		◎
3E22	日本史専門講読Ⅱ			○		◎
4E32	日本史専門講読Ⅲ			○		◎
3E22	アジア史専門講読Ⅰ			○		◎
3E22	アジア史専門講読Ⅱ			○		◎
4E32	アジア史専門講読Ⅲ			○		◎
3E22	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ			○		◎
3E22	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ			○		◎
4E32	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ			○		◎
3E22	考古学実習Ⅱ			○		◎
3E22	考古学実習Ⅲ			○		◎
3E22	民俗学実習Ⅰ			○		◎
3E22	民俗学実習Ⅱ			○		◎
3E12	ラテン語初級Ⅰ			○		◎
3E12	ラテン語初級Ⅱ			○		◎
3E22	ギリシア語中級Ⅰ			○		◎
3E22	ギリシア語中級Ⅱ			○		◎
4E22	ラテン語中級Ⅰ			○		◎
4E22	ラテン語中級Ⅱ			○		◎
2E24	地誌学Ⅰ		○	○	◎	
2E24	地誌学Ⅱ		○	○	◎	
2E24	日本文学史Ⅰ		○	○	◎	
2E24	日本文学史Ⅱ		○	○	◎	
3E24	自然地理学Ⅰ		○	○	◎	
3E24	自然地理学Ⅱ		○	○	◎	
3E24	人文地理学Ⅰ		○	○	◎	
3E24	人文地理学Ⅱ		○	○	◎	
3E24	日本美術史		○	○	◎	
3E24	ヨーロッパ美術史		○	○	◎	
3E24	生活文化史Ⅰ		○	○	◎	
3E24	生活文化史Ⅱ		○	○	◎	
3E24	日本経済史Ⅰ		○	○	◎	
3E24	日本経済史Ⅱ		○	○	◎	
3E24	西洋経済史Ⅰ		○	○	◎	
3E24	西洋経済史Ⅱ		○	○	◎	
3E24	日本思想史Ⅰ		○	○	◎	
3E24	日本思想史Ⅱ		○	○	◎	

文学部歴史学科課程表

2020年度以降入学生適用 (その1)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
					1 年			2 年			3 年			4 年				
					前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
教 養 教 育 科 目	T G ベ ー シ ャ 的 基 礎	人 間 的 基 礎	聖書を学ぶ	半期	●		2										◎	4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2									◎		
			キリスト教学A（キリスト教と倫理）	半期								2			} ◎			
			キリスト教学B（キリスト教と宗教）	半期							2							
			キリスト教学C（キリスト教と文化）	半期							2							
			キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	半期							2							
			市民社会を生きる	半期	○	○	2											
			地球社会を生きる	半期				○	○	2								
			科学技術社会を生きる	半期				○	○	2								
			キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2											
	知 的 基 礎	クリティカル・シンキング	半期							○	○	2						
		数理的思考の基礎	半期	○	○	2												
		統計的思考の基礎	半期	○	○	2												
		科学的思考の基礎	半期				○	○	2									
		情報化社会の基礎	半期	○	○	2												
		メディア・リテラシー	半期				○	○	2									
		読解・作文の技法	半期	●		2												
		研究・発表の技法	半期		●	2												
	学 科 教 養 科 目	哲学	半期	○	○	2										教育職員免許状取得に必修。		
		芸術論	半期	○	○	2												
		歴史学	半期	○	○	2												
		心理学	半期	○	○	2												
		基礎社会学	半期	○	○	2												
		基礎経済学	半期	○	○	2												
		法学	半期	○	○	2												
		日本国憲法	半期	○	○	2												
		環境の科学	半期				○	○	2									
		自然の科学	半期				○	○	2									
		倫理学	半期				○	○	2									
		文学	半期						2									
文化人類学		半期	○	○	2													
現代の政治		半期	○	○	2													
社会福祉論		半期				○	○	2										
東北地域論		半期				○	○	2										
先端の科学と技術		半期				○	○	2										
情報リテラシー		半期				○	○	2										
基礎地理学		半期				○	○	2										
東北学院の歴史		半期							●	2								
地 域 教 育 科 目	震災と復興	半期	○	○	2													
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2						◎				
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2										
	地域課題演習	通年								4								
外 国 語 科 目	第 1 類	英語ⅠA	半期	●		1									◎	卒業要件における外国語科目第1類の最低取得単位は、英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡBで取得すること。		
		英語ⅠB	半期		●	1									◎			
		英語ⅡA	半期				●		1						◎			
		英語ⅡB	半期					●	1						◎			
		外国語コミュニケーションⅠ	半期				●		1						教育職員免許状取得に必修。			
		外国語コミュニケーションⅡ	半期					●	1									

文学部歴史学科課程表
2020年度以降入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
外国語科目	第 2 類	ドイツ語Ⅰ A	半期	●		1									◎	1単位選択必修。	
		フランス語Ⅰ A	半期	●		1											
		中国語Ⅰ A	半期	●		1									◎	1単位選択必修。Bの選択にあたってはAと同一の科目を選択すること。	
		韓国・朝鮮語Ⅰ A	半期	●		1											
		ドイツ語Ⅰ B	半期		●	1									◎	1単位選択必修。Bの選択にあたってはAと同一の科目を選択すること。	
		フランス語Ⅰ B	半期		●	1											
		中国語Ⅰ B	半期		●	1									◎	1単位選択必修。Bの選択にあたってはAと同一の科目を選択すること。	
		韓国・朝鮮語Ⅰ B	半期		●	1											
		ドイツ語Ⅱ A	半期				●		1							◎	Ⅱの選択にあたってはⅠと同一外国語を履修すること。
		フランス語Ⅱ A	半期				●		1								
		中国語Ⅱ A	半期				●		1								
		韓国・朝鮮語Ⅱ A	半期				●		1								
		ドイツ語Ⅱ B	半期					●	1								
		フランス語Ⅱ B	半期					●	1								
		中国語Ⅱ B	半期					●	1								
		韓国・朝鮮語Ⅱ B	半期					●	1								
	第 3 類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語Ⅰ A」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業要件には含まない。	
		英語Ⅲ	半期								1						
保健体育科目		体育講義	半期			2										教育職員免許状取得に必修。	
		スポーツ実技	通年			2											
外国人留学生科目	第 1 類	日本事情 A	半期			2											
		日本事情 B	半期			2											
		日本事情 C	半期			2											
	第 2 類	日本語Ⅰ A	半期			1											
		日本語Ⅰ B	半期			1											
		日本語Ⅱ A	半期						1								
日本語Ⅱ B	半期						1										
専門教育科目	第 1 類 （演習）	基礎演習Ⅰ	半期				●		2						◎	◎	2単位選択必修。
		基礎演習Ⅱ	半期					●	2						◎		
		日本史総合演習Ⅰ	半期							●		2				◎	2単位選択必修。
		アジア史総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		ヨーロッパ史総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		考古学総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		民俗学総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		日本史総合演習Ⅱ	半期								●	2			◎		
		アジア史総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		ヨーロッパ史総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		考古学総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		民俗学総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		日本史論文演習Ⅰ	半期										●	2		◎	2単位選択必修。論文演習の選択にあたっては、総合演習と同一分野の同一教員担当のものとする。
		アジア史論文演習Ⅰ	半期										●	2			
		ヨーロッパ史論文演習Ⅰ	半期										●	2			
		考古学論文演習Ⅰ	半期										●	2			
		民俗学論文演習Ⅰ	半期										●	2			
		日本史論文演習Ⅱ	半期											●	2		
		アジア史論文演習Ⅱ	半期											●	2		
		ヨーロッパ史論文演習Ⅱ	半期											●	2		
考古学論文演習Ⅱ	半期											●	2				
民俗学論文演習Ⅱ	半期											●	2				

文学部歴史学科課程表
2020年度以降入学生適用 (その3)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考		
				1 年			2 年			3 年			4 年					
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位			
																◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目		
専 門 教 育 科 目	第 2 類 （ 講 義 ）	日本史概説Ⅰ	半期	●		2											◎	5分野（「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」・「アジア史概説Ⅰ・Ⅱ」・「ヨーロッパ史概説Ⅰ・Ⅱ」・「考古学概説Ⅰ・Ⅱ」・「民俗学概説Ⅰ・Ⅱ」）から4分野（8科目16単位）選択必修。
		日本史概説Ⅱ	半期		●	2												
		アジア史概説Ⅰ	半期	●		2												
		アジア史概説Ⅱ	半期		●	2												
		ヨーロッパ史概説Ⅰ	半期	●		2												
		ヨーロッパ史概説Ⅱ	半期		●	2												
		考古学概説Ⅰ	半期	●		2												
		考古学概説Ⅱ	半期		●	2												
		民俗学概説Ⅰ	半期	●		2												
		民俗学概説Ⅱ	半期		●	2												
		歴史の中の東北	半期					●	2									
		江戸から明治へ	半期				●		2									
		イスラーム世界の形成と展開	半期				●		2									
		伝統アジアの社会と文化	半期							●		2						
		ヨーロッパ近現代の国家と社会	半期								●	2						
		アジアにおける国家の誕生	半期								●	2						
		近現代日本と東アジア	半期								●	2						
		ヨーロッパ中近世社会史	半期								●	2						
		アジアの王権と思想	半期									●	2					
		日本史の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		日本史の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		アジア史の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		アジア史の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		考古学の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		考古学の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		民俗学の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		民俗学の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
	第 3 類 （ 講 読 ・ 実 習 ）	古文書学Ⅰ	半期				●		2									
		古文書学Ⅱ	半期					●	2									
		アジア史基礎講読Ⅰ	半期				●		2									
		アジア史基礎講読Ⅱ	半期					●	2									
		ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ	半期				●		2									
ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ		半期					●	2										
民俗学調査入門Ⅰ		半期				●		1										
民俗学調査入門Ⅱ		半期					●	1										
考古学実習Ⅰ		半期				●		2										
ギリシア語初級Ⅰ		半期				●		2										
ギリシア語初級Ⅱ		半期					●	2										
日本史専門講読Ⅰ		半期							●		2							
日本史専門講読Ⅱ		半期								●	2							
日本史専門講読Ⅲ		半期										●		2				
アジア史専門講読Ⅰ		半期							●		2							
アジア史専門講読Ⅱ		半期								●	2							
アジア史専門講読Ⅲ		半期										●		2				
ヨーロッパ史専門講読Ⅰ		半期							●		2							
ヨーロッパ史専門講読Ⅱ		半期								●	2							
ヨーロッパ史専門講読Ⅲ		半期										●		2				
考古学実習Ⅱ		半期							●		2							
考古学実習Ⅲ		半期								●	2							

文学部歴史学科課程表
2020年度以降入学生適用（その4）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 } ◎印－選択必修科目	
専 門 教 育 科 目	第 3 類 （ 講 読 ・ 実 習 ）	民俗学実習Ⅰ	半期							●		2					
		民俗学実習Ⅱ	半期								●	2					
		ラテン語初級Ⅰ	半期							●		2					
		ラテン語初級Ⅱ	半期								●	2					
		ギリシア語中級Ⅰ	半期							●		2					
		ギリシア語中級Ⅱ	半期								●	2					
		ラテン語中級Ⅰ	半期										●		2		
		ラテン語中級Ⅱ	半期											●	2		
	第 4 類 （ 隣 接 科 目 ）	地誌学Ⅰ	半期						2								・学芸員、司書、社会教育主事資格を得るための履修方法は、大学要覧（学芸員課程、司書課程、社会教育主事課程）を参照のこと。
		地誌学Ⅱ	半期						2								
		日本文学史Ⅰ	半期				●		2								
		日本文学史Ⅱ	半期					●	2								
		海外研究Ⅰ	半期				●		2								
		海外研究Ⅱ	半期					●	2								
		自然地理学Ⅰ	半期							●		2					
		自然地理学Ⅱ	半期								●	2					
		人文地理学Ⅰ	半期							●		2					
		人文地理学Ⅱ	半期								●	2					
		日本美術史	半期								●	2					
		ヨーロッパ美術史	半期							●		2					
		生活文化史Ⅰ	半期							●		2					
		生活文化史Ⅱ	半期								●	2					
		日本経済史Ⅰ	半期							●		2					
		日本経済史Ⅱ	半期								●	2					
		西洋経済史Ⅰ	半期							●		2					
		西洋経済史Ⅱ	半期								●	2					
		日本思想史Ⅰ	半期							●		2					
		日本思想史Ⅱ	半期								●	2					

文学部歴史学科課程表（資格科目）

2020年度以降入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年									備 考		
			1 年			2 年			3 年			4 年		
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位
教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2									☆
	教育基礎論	半期	●		2									☆ 社会教育主事課程と共通
	教育の制度と経営	半期		●	2									☆
	教育心理学	半期						2						☆
	教育課程論	半期				●		2						☆
	道德教育の理論と方法	半期						2						☆ 中学校教育職員免許状取得に必修
	教育の方法と技術	半期						2						☆
	教育相談の理論と方法	半期						2						☆
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2						☆
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	半期					●	2						☆
	社会・公民科教育法(概論・理論)	半期					●	2						☆
	社会・地理歴史科教育法(実践)	半期								●	2			☆
	社会・公民科教育法(実践)	半期								●	2			☆
	社会・地理歴史科教育法(応用)	半期								●	2			☆
	社会・公民科教育法(応用)	半期								●	2			☆
	社会科教育法(発展)	半期									2			☆
	特別支援教育論	半期									2			☆
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2			☆
	介護体験実習	通年									2			☆ 中学校教育職員免許状取得に必修
	教育実習Ⅰ	通年											3	☆
	教育実習Ⅱ	通年											2	☆ 中学校教育職員免許状取得に必修
	教職実践演習(中・高)	半期										●	2	☆
学 芸 員 に 関 する 科 目	博物館概論	半期	●		2									☆ 社会教育主事課程と共通
	博物館教育論	半期			2									☆ 社会教育主事課程と共通
	生涯学習概論Ⅰ	半期				●		2						☆ 社会教育主事課程・司書課程と共通
	生涯学習概論Ⅱ	半期					●	2						☆ 社会教育主事課程と共通
	博物館経営論	半期						2						☆
	博物館資料論	半期				●		2						☆
	博物館資料保存論	半期									2			☆
	博物館展示論	半期									2			☆
	博物館情報・メディア論	半期									2			☆
	博物館実習Ⅰ(学内実習)	通年							●	●	1			☆
	博物館実習Ⅱ(見学実習)	通年							●	●	1			☆
	博物館実習Ⅲ(館園実習)	通年							●	●	1			☆
司 書 に 関 する 科 目	図書館概論	半期				●		2						☆ 社会教育主事課程と共通
	図書館情報技術論	半期									2			☆
	図書館サービス概論	半期									2			☆
	情報資源組織論	半期									2			☆
	図書・図書館史	半期									2			
	図書館情報資源概論	半期								●	2			☆
	図書館制度・経営論	半期										2		☆ 社会教育主事課程と共通
	情報サービス論	半期										2		☆
	情報サービス演習A	半期										1		☆
	情報サービス演習B	半期										1		☆
	情報資源組織演習	通年									●	●	2	☆
	図書館情報資源特論	半期											1	
	図書館施設論	半期											1	

文学部歴史学科課程表（資格科目）
2020年度入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ☆印－必修科目 ☆印－選択必修科目	
関 する 科目 に 関 する 科目 に 関 する 科目	学校経営と学校図書館	半期								2				☆ 司書課程と共通		
	学校図書館メディアの構成	半期								2				☆		
	学習指導と学校図書館	半期								2				☆ 司書課程と共通		
	読書と豊かな人間性	半期								2				☆ 司書課程と共通		
	情報メディアの活用	半期								2				☆		
社 会 教 育 主 事 に 関 する 科目	市民活動論	半期			2										※社会教育主事資格を得るための 履修方法は、大学要覧（社会教育主事課程）を参照のこと	
	ボランティア活動	半期						2								
	スポーツ指導論	半期						2								
	地域構想論	半期						2								
	地域スポーツ論	半期						2								
	スポーツマネジメント	半期								2						
	生涯学習支援論	通年							●	●	4				☆	
	社会教育実習Ⅰ	半期							●		2				☆	
	社会教育実習Ⅱ	半期								●	2				} ☆ 社会教育課題研究 4 単位又は社会教育実習Ⅱ 1 単位と教育調査実習 A 2 単位及び 教育調査実習 B 2 単位の合計 5 単位のいずれか選択必修	
	社会教育課題研究	通年							●	●	4					
	教育調査実習 A	半期									2					
	教育調査実習 B	半期									2					
	現代社会と社会教育	半期									2					
	市民性育成の教育論	半期									2					
	地域教育論	半期									2					
	地域文化論	半期									2					
	地域社会論	半期									2					
	社会教育経営論	通年										●	●	4	☆	

歴史学科卒業要件（2020年度以降入学生）

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	T G ベーシック	人間的基礎	10	34
		知的基礎	8	
	学科教養科目		16	
地域教育科目（必修科目）				2
外国語科目	第 1 類（必修科目）		4	6
	第 2 類		2	
専門教育科目	第 1 類（演習）		12	56
	第 2 類（講義）		32	
	第 3 類（講読・実習）		8	
	第 4 類（隣接科目）		4	
教養教育科目 地域教育科目 外国語科目第 1 類及び第 2 類 保健体育科目 専門教育科目 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				26
合 計				124

※歴史学科4年次の学生は、別に定める要件を満たせば、大学院ヨーロッパ文化史・アジア文化史講義科目（当該年度開講科目に限る）を履修することができる。また、当該学生が大学院に進学した場合は、大学院の修得単位として認定することができる。

歴史学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目		合計30単位以上
外国語科目	第1類及び第2類	4単位以上
専門教育科目	第1類	2単位以上
	第2～4類	16単位以上
合 計		52単位以上

歴史学科専修修了該当科目一覧表

日本史分野	アジア史分野	ヨーロッパ史分野	考古学分野	民俗学分野
日本史総合演習Ⅰ	アジア史総合演習Ⅰ	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ	考古学総合演習Ⅰ	民俗学総合演習Ⅰ
日本史総合演習Ⅱ	アジア史総合演習Ⅱ	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ	考古学総合演習Ⅱ	民族学総合演習Ⅱ
日本史論文演習Ⅰ	アジア史論文演習Ⅰ	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ	考古学論文演習Ⅰ	民俗学論文演習Ⅰ
日本史論文演習Ⅱ	アジア史論文演習Ⅱ	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ	考古学論文演習Ⅱ	民俗学論文演習Ⅱ
日本史専門講読Ⅰ	アジア史専門講読Ⅰ	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ	考古学実習Ⅰ	民俗学実習Ⅰ
日本史専門講読Ⅱ	アジア史専門講読Ⅱ	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ	考古学実習Ⅱ	民俗学実習Ⅱ
日本史専門講読Ⅲ	アジア史専門講読Ⅲ	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ	考古学実習Ⅲ	民俗学の諸問題Ⅰ
日本史の諸問題Ⅰ	アジア史の諸問題Ⅰ	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ	考古学の諸問題Ⅰ	民俗学の諸問題Ⅱ
日本史の諸問題Ⅱ	アジア史の諸問題Ⅱ	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ	考古学の諸問題Ⅱ	

※日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学各分野において、「総合演習」「論文演習」「専門講読」「実習」及び「諸問題」の中から、同一分野の科目を合わせて16単位以上履修すれば、当該分野の「専修」修了を認める。

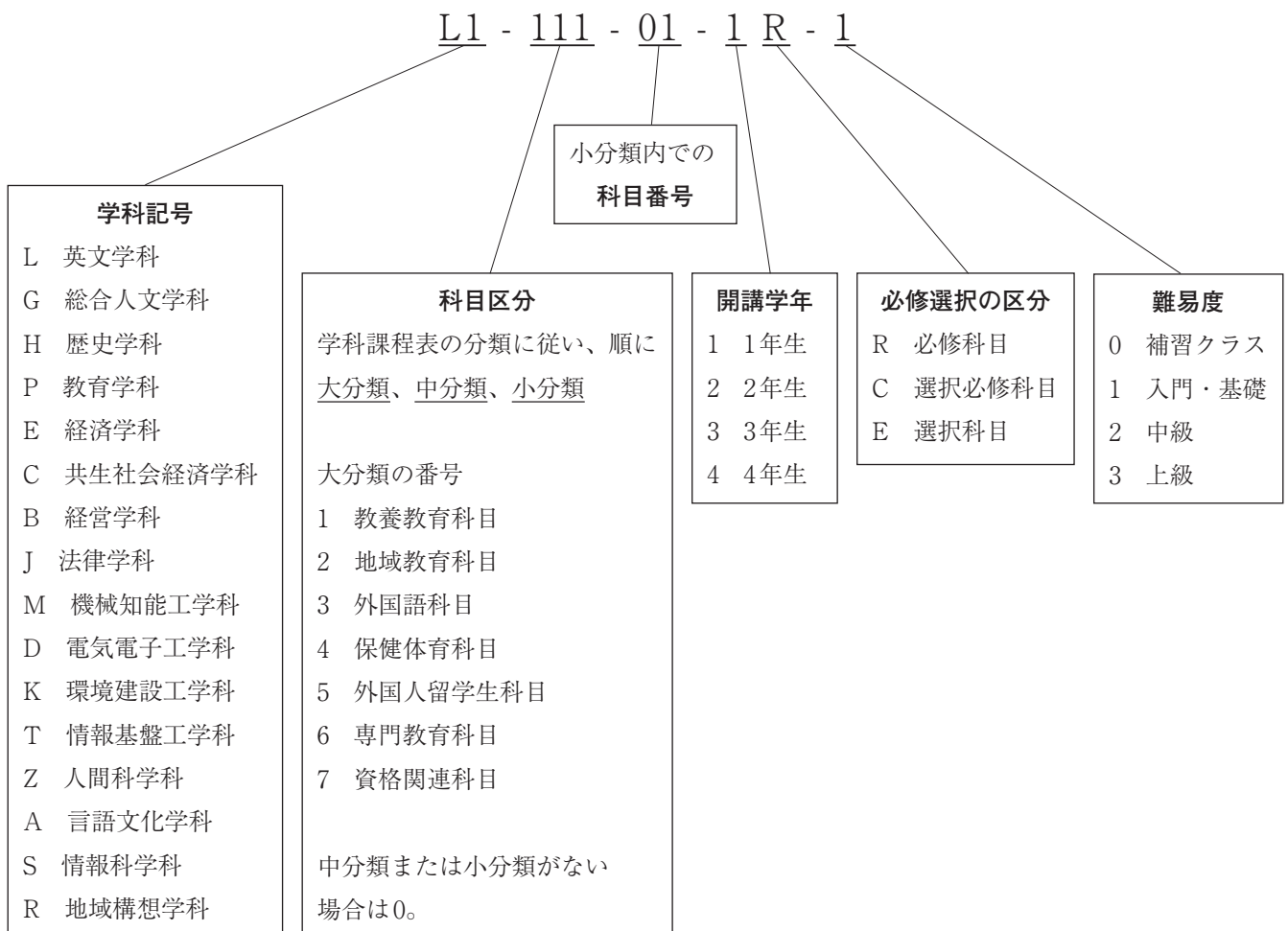
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、
学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針（ディプロマポリシー）				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
H1-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
H1-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
H1-111-03-3C-2	キリスト教学A（キリスト教と倫理）	◎		○		
H1-111-04-3C-2	キリスト教学B（キリスト教と宗教）	◎		○		
H1-111-05-3C-2	キリスト教学C（キリスト教と文化）	◎		○		
H1-111-06-3C-2	キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	◎		○		
H1-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
H1-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
H1-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
H1-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
H1-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
H1-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
H1-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
H1-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
H1-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
H1-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
H1-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
H1-112-08-1E-1	研究・発表の技法		◎			
H1-120-01-1E-1	哲学			◎		
H1-120-02-1E-1	芸術論			◎		
H1-120-03-1E-1	歴史学			◎		
H1-120-04-1E-1	心理学			◎		
H1-120-05-1E-1	基礎社会学			◎		
H1-120-06-1E-1	基礎経済学			◎		
H1-120-07-1E-1	法学			◎		
H1-120-08-1E-1	日本国憲法			◎		
H1-120-09-2E-1	環境の科学			◎		
H1-120-10-2E-1	自然の科学			◎		
H1-120-11-2E-1	倫理学			◎		
H1-120-12-2E-1	文学			◎		
H1-120-13-1E-1	文化人類学			◎		
H1-120-14-1E-1	現代の政治			◎		
H1-120-15-2E-1	社会福祉論			◎		
H1-120-16-2E-1	東北地域論			◎		
H1-120-17-2E-1	先端の科学と技術			◎		
H1-120-18-2E-1	情報リテラシー			◎		
H1-120-19-2E-1	基礎地理学			◎		
H1-120-20-3E-2	東北学院の歴史	○		○		
H1-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
H1-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
H1-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
H1-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
H1-310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○		
H1-310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○		
H1-310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○		
H1-310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○		
H1-310-05-2E-2	外国語コミュニケーションⅠ		◎	○		
H1-310-06-2E-2	外国語コミュニケーションⅡ		◎	○		
H1-320-01-1C-1	ドイツ語ⅠA		◎	○		
H1-320-02-1C-1	フランス語ⅠA		◎	○		
H1-320-03-1C-1	中国語ⅠA		◎	○		
H1-320-04-1C-1	韓国・朝鮮語ⅠA		◎	○		
H1-320-05-1C-1	ドイツ語ⅠB		◎	○		
H1-320-06-1C-1	フランス語ⅠB		◎	○		
H1-320-07-1C-1	中国語ⅠB		◎	○		
H1-320-08-1C-1	韓国・朝鮮語ⅠB		◎	○		
H1-320-09-2E-2	ドイツ語ⅡA		◎	○		
H1-320-10-2E-2	フランス語ⅡA		◎	○		
H1-320-11-2E-2	中国語ⅡA		◎	○		
H1-320-12-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡA		◎	○		
H1-320-13-2E-2	ドイツ語ⅡB		◎	○		
H1-320-14-2E-2	フランス語ⅡB		◎	○		
H1-320-15-2E-2	中国語ⅡB		◎	○		
H1-320-16-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡB		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針（ディプロマポリシー）				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを踏 まえた考察ができる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多様 な視点から認識し、 異なる認識・思考方 法や価値観に理解 を示すことができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支える 認識や思考の方法 を説明できる	課題を発見し、その 解決のために学修 成果を総合的に活 用できる
H1-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
H1-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○		
H1-400-01-1E-1	体育講義			◎		
H1-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
H1-510-01-1E-1	日本事情A			◎		
H1-510-02-1E-1	日本事情B			◎		
H1-510-03-1E-1	日本事情C			◎		
H1-520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○		
H1-520-02-1E-1	日本語ⅠB		◎	○		
H1-520-03-2E-2	日本語ⅡA		◎	○		
H1-520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○		
H1-610-01-2R-1	基礎演習Ⅰ	◎			○	
H1-610-02-2R-1	基礎演習Ⅱ	◎			○	
H1-610-03-3C-2	日本史総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-04-3C-2	アジア史総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-05-3C-2	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-06-3C-2	考古学総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-07-3C-2	民俗学総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-08-3C-2	日本史総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-09-3C-2	アジア史総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-10-3C-2	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-11-3C-2	考古学総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-12-3C-2	民俗学総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-13-4C-3	日本史論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-14-4C-3	アジア史論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-15-4C-3	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-16-4C-3	考古学論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-17-4C-3	民俗学論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-18-4C-3	日本史論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-19-4C-3	アジア史論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-20-4C-3	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-21-4C-3	考古学論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-22-4C-3	民俗学論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-620-01-1C-1	日本史概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-02-1C-1	日本史概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-03-1C-1	アジア史概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-04-1C-1	アジア史概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-05-1C-1	ヨーロッパ史概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-06-1C-1	ヨーロッパ史概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-07-1C-1	考古学概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-08-1C-1	考古学概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-09-1C-1	民俗学概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-10-1C-1	民俗学概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-11-2E-2	歴史の中の東北	◎			○	
H1-620-12-2E-2	江戸から明治へ	◎			○	
H1-620-13-2E-2	イスラーム世界の形成と展開	◎			○	
H1-620-14-3E-2	伝統アジアの社会と文化	◎			○	
H1-620-15-3E-2	ヨーロッパ近現代の国家と社会	◎			○	
H1-620-16-3E-2	アジアにおける国家の誕生	◎			○	
H1-620-17-3E-2	近現代日本と東アジア	◎			○	
H1-620-18-3E-2	ヨーロッパ中近世社会史	◎			○	
H1-620-19-3E-2	アジアの王権と思想	◎			○	
H1-620-20-3E-2	日本史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-21-3E-2	日本史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-22-3E-2	アジア史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-23-3E-2	アジア史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-24-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-25-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-26-3E-2	考古学の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-27-3E-2	考古学の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-28-3E-2	民俗学の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-29-3E-2	民俗学の諸問題Ⅱ			○	◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針（ディプロマポリシー）				
		現代をよく生きる ことについて、キリ スト教の教えを踏ま えた考察ができる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多様 な視点から認識し、 異なる認識・思考方 法や価値観に理解 を示すことができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支える 認識や思考の方法 を説明できる	課題を発見し、その 解決のために学修 成果を総合的に活 用できる
H1-630-01-2E-1	古文書学Ⅰ	◎		○		
H1-630-02-2E-1	古文書学Ⅱ	◎		○		
H1-630-03-2E-1	アジア史基礎講読Ⅰ	◎		○		
H1-630-04-2E-1	アジア史基礎講読Ⅱ	◎		○		
H1-630-05-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ	◎		○		
H1-630-06-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ	◎		○		
H1-630-07-2E-1	民俗学調査入門Ⅰ			○		◎
H1-630-08-2E-1	民俗学調査入門Ⅱ			○		◎
H1-630-09-2E-1	考古学実習Ⅰ			○		◎
H1-630-10-2E-1	ギリシア語初級Ⅰ			○	◎	
H1-630-11-2E-2	ギリシア語初級Ⅱ			○	◎	
H1-630-12-3E-2	日本史専門講読Ⅰ			◎		○
H1-630-13-3E-2	日本史専門講読Ⅱ			◎		○
H1-630-14-4E-3	日本史専門講読Ⅲ			◎		○
H1-630-15-3E-2	アジア史専門講読Ⅰ			◎		○
H1-630-16-3E-2	アジア史専門講読Ⅱ			◎		○
H1-630-17-4E-3	アジア史専門講読Ⅲ			◎		○
H1-630-18-3E-2	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ			◎		○
H1-630-19-3E-2	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ			◎		○
H1-630-20-4E-3	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ			◎		○
H1-630-21-3E-2	考古学実習Ⅱ			○		◎
H1-630-22-3E-3	考古学実習Ⅲ			○		◎
H1-630-23-3E-2	民俗学実習Ⅰ			○		◎
H1-630-24-3E-3	民俗学実習Ⅱ			○		◎
H1-630-25-3E-1	ラテン語初級Ⅰ	◎		○		
H1-630-26-3E-2	ラテン語初級Ⅱ	◎		○		
H1-630-27-3E-2	ギリシア語中級Ⅰ	◎		○		
H1-630-28-3E-3	ギリシア語中級Ⅱ	◎		○		
H1-630-29-4E-2	ラテン語中級Ⅰ	◎		○		
H1-630-30-4E-3	ラテン語中級Ⅱ	◎		○		
H1-640-01-2E-2	地誌学Ⅰ	○				◎
H1-640-02-2E-2	地誌学Ⅱ	○				◎
H1-640-03-2E-2	日本文学史Ⅰ	○				◎
H1-640-04-2E-2	日本文学史Ⅱ	○				◎
H1-640-05-2E-2	海外研究Ⅰ	○				◎
H1-640-06-2E-2	海外研究Ⅱ	○				◎
H1-640-07-3E-2	自然地理学Ⅰ	○				◎
H1-640-08-3E-2	自然地理学Ⅱ	○				◎
H1-640-09-3E-2	人文地理学Ⅰ	○				◎
H1-640-10-3E-2	人文地理学Ⅱ	○				◎
H1-640-11-3E-2	日本美術史	○				◎
H1-640-12-3E-2	ヨーロッパ美術史	○				◎
H1-640-13-3E-2	生活文化史Ⅰ	◎				○
H1-640-14-3E-2	生活文化史Ⅱ	◎				○
H1-640-15-3E-2	日本経済史Ⅰ	◎				○
H1-640-16-3E-2	日本経済史Ⅱ	◎				○
H1-640-17-3E-2	西洋経済史Ⅰ	◎				○
H1-640-18-3E-2	西洋経済史Ⅱ	◎				○
H1-640-19-3E-2	日本思想史Ⅰ	◎				○
H1-640-20-3E-2	日本思想史Ⅱ	◎				○
H1-710-01-1R-1	現代教職論			◎		
H1-710-02-1R-1	教育基礎論			◎		
H1-710-03-1R-1	教育の制度と経営			◎		
H1-710-04-2R-2	教育心理学			◎		
H1-710-05-2R-2	教育課程論			◎		
H1-710-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎		
H1-710-07-2R-2	教育の方法と技術			◎		
H1-710-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎		
H1-710-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎		
H1-710-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）			○	◎	
H1-710-11-2R-3	社会・公民科教育法（概論・理論）			○	◎	
H1-710-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法（実践）			○	◎	
H1-710-13-3R-3	社会・公民科教育法（実践）			○	◎	
H1-710-14-3R-3	社会・地理歴史科教育法（応用）			○	◎	
H1-710-15-3R-3	社会・公民科教育法（応用）			○	◎	
H1-710-16-3R-3	社会科教育法（発展）			○	◎	
H1-710-17-3R-3	特別支援教育論			○	◎	
H1-710-18-3E-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎	
H1-710-19-3R-2	介護体験実習			◎		
H1-710-20-4R-3	教育実習Ⅰ				○	◎
H1-710-21-4R-3	教育実習Ⅱ				○	◎
H1-710-22-4R-3	教職実践演習（中・高）					◎

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針（ディプロマポリシー）				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを踏 まえた考察ができる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多様 な視点から認識し、 異なる認識・思考方 法や価値観に理解 を示すことができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支える 認識や思考の方法 を説明できる	課題を発見し、その 解決のために学修 成果を総合的に活 用できる
H1-720-01-1R-1	博物館概論			◎		
H1-720-02-1R-1	博物館教育論			◎		
H1-720-03-2R-1	生涯学習概論Ⅰ			◎		
H1-720-04-2R-1	生涯学習概論Ⅱ			◎		
H1-720-05-2R-1	博物館経営論			◎		
H1-720-06-2R-2	博物館資料論			◎		
H1-720-07-3R-2	博物館資料保存論			◎		
H1-720-08-3R-2	博物館展示論			◎		
H1-720-09-3R-2	博物館情報・メディア論			◎		
H1-720-10-3R-3	博物館実習Ⅰ（学内実習）			◎		
H1-720-11-3R-3	博物館実習Ⅱ（見学実習）			◎		
H1-720-12-3R-3	博物館実習Ⅲ（館園実習）			◎		
H1-730-01-2R-1	図書館概論			◎		
H1-730-02-3R-2	図書館情報技術論			◎		
H1-730-03-3R-2	図書館サービス概論			◎		
H1-730-04-3R-2	情報資源組織論			◎		
H1-730-05-3E-2	図書・図書館史			◎		
H1-730-06-3R-2	図書館情報資源概論			◎		
H1-730-07-4R-3	図書館制度・経営論			◎		
H1-730-08-4R-3	情報サービス論			◎		
H1-730-09-4R-3	情報サービス演習A			◎		
H1-730-10-4R-3	情報サービス演習B			◎		
H1-730-11-4R-3	情報資源組織演習			◎		
H1-730-12-4E-3	図書館情報資源特論			◎		
H1-730-13-4E-3	図書館施設論			◎		
H1-740-01-3R-2	学校経営と学校図書館			◎		
H1-740-02-3R-2	学校図書館メディアの構成			◎		
H1-740-03-3R-2	学習指導と学校図書館			◎		
H1-740-04-3R-2	読書と豊かな人間性			◎		
H1-740-05-3R-2	情報メディアの活用			◎		
H2-750-01-1E-1	市民活動論			◎		
H2-750-02-2E-1	ボランティア活動			◎		
H2-750-03-2E-1	スポーツ指導論			◎		
H2-750-04-2E-1	地域構想論			◎		
H2-750-05-2E-1	地域スポーツ論			◎		
H2-750-06-3E-2	スポーツマネジメント			◎		
H2-750-07-3R-2	生涯学習支援論			◎		
H2-750-08-3R-2	社会教育実習Ⅰ			○		◎
H2-750-09-3C-2	社会教育実習Ⅱ			○		◎
H2-750-10-3C-2	社会教育課題研究			○		◎
H2-750-11-3C-2	教育調査実習A			○		◎
H2-750-12-3C-2	教育調査実習B			○		◎
H2-750-13-3E-2	現代社会と社会教育			◎		
H2-750-14-3E-2	市民性育成の教育論			◎		
H2-750-15-3E-2	地域教育論			◎		
H2-750-16-3E-2	地域文化論			◎		
H2-750-17-3E-2	地域社会論			◎		
H2-750-18-4R-3	社会教育経営論			◎		

文学部歴史学科課程表

2019年度入学生適用 (その1)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印—必修科目 } ◎印—選択必修科目	
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
教 養 教 育 科 目	T G ベ ー シ ャ 的 基 礎	聖書を学ぶ	半期	●	2										◎	
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2									◎	
		キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期								2				} ◎	4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。
		キリスト教学B (キリスト教と宗教)	半期								2					
		キリスト教学C (キリスト教と文化)	半期								2					
		キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	半期								2					
		市民社会を生きる	半期	○	○	2										
		地球社会を生きる	半期				○	○	2							
		科学技術社会を生きる	半期				○	○	2							
		キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2										
	知 的 基 礎	クリティカル・シンキング	半期						○	○	2					
		数理的思考の基礎	半期	○	○	2										
		統計的思考の基礎	半期	○	○	2										
		科学的思考の基礎	半期				○	○	2							
		情報化社会の基礎	半期	○	○	2										
		メディア・リテラシー	半期				○	○	2							
		読解・作文の技法	半期	●		2										
		研究・発表の技法	半期		●	2										
	学 科 教 養 科 目	哲学	半期	○	○	2										教育職員免許状取得に必修。
		芸術論	半期	○	○	2										
		歴史学	半期	○	○	2										
		心理学	半期	○	○	2										
		基礎社会学	半期	○	○	2										
		基礎経済学	半期	○	○	2										
		法学	半期	○	○	2										
		日本国憲法	半期	○	○	2										
		環境の科学	半期				○	○	2							
		自然の科学	半期				○	○	2							
		倫理学	半期				○	○	2							
		文学	半期						2							
		文化人類学	半期	○	○	2										
		現代の政治	半期	○	○	2										
		社会福祉論	半期				○	○	2							
		東北地域論	半期				○	○	2							
		先端の科学と技術	半期				○	○	2							
		情報リテラシー	半期				○	○	2						教育職員免許状取得に必修。	
		基礎地理学	半期				○	○	2							
		東北学院の歴史	半期							●	2					
地 域 教 育 科 目		震災と復興	半期	○	○	2										
		地域の課題Ⅰ	半期				●		2						◎	
		地域の課題Ⅱ	半期					●	2							
		地域課題演習	通年								4					
外 国 語 科 目	第 1 類	英語ⅠA	半期	●		1									◎	卒業要件における外国語科目第1類の最低取得単位は、英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡBで取得すること。
		英語ⅠB	半期		●	1									◎	
		英語ⅡA	半期				●		1						◎	
		英語ⅡB	半期					●	1						◎	
		外国語コミュニケーションⅠ	半期				●		1						教育職員免許状取得に必修。	
		外国語コミュニケーションⅡ	半期					●	1							

文学部歴史学科課程表
2019年度入学生適用 (その2)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	◎印－必修科目	◎印－選択必修科目
外国語科目	第 2 類	ドイツ語Ⅰ A	半期	●		1									◎	1単位選択必修。	
		フランス語Ⅰ A	半期	●		1											
		中国語Ⅰ A	半期	●		1											
		韓国・朝鮮語Ⅰ A	半期	●		1											
		ドイツ語Ⅰ B	半期		●	1									◎	1単位選択必修。Bの選択にあたってはAと同一の科目を選択すること。	
		フランス語Ⅰ B	半期		●	1											
		中国語Ⅰ B	半期		●	1											
		韓国・朝鮮語Ⅰ B	半期		●	1											
		ドイツ語Ⅱ A	半期				●		1							◎	Ⅱの選択にあたってはⅠと同一外国語を履修すること。
		フランス語Ⅱ A	半期				●		1								
		中国語Ⅱ A	半期				●		1								
		韓国・朝鮮語Ⅱ A	半期				●		1								
		ドイツ語Ⅱ B	半期					●	1								
		フランス語Ⅱ B	半期					●	1								
		中国語Ⅱ B	半期					●	1								
		韓国・朝鮮語Ⅱ B	半期					●	1								
	第 3 類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語Ⅰ A」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業要件には含まない。	
		英語Ⅲ	半期								1						
保健体育科目		体育講義	半期			2											
		スポーツ実技	通年			2									教育職員免許状取得に必修。		
外国人留学生科目	第 1 類	日本事情 A	半期			2											
		日本事情 B	半期			2											
		日本事情 C	半期			2											
	第 2 類	日本語Ⅰ A	半期			1											
		日本語Ⅰ B	半期			1											
		日本語Ⅱ A	半期					1									
日本語Ⅱ B	半期					1											
専門教育科目	第 1 類 (演習)	基礎演習Ⅰ	半期				●		2						◎	◎	
		基礎演習Ⅱ	半期					●	2						◎		
		日本史総合演習Ⅰ	半期							●		2			◎	2単位選択必修。	
		アジア史総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		ヨーロッパ史総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		考古学総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		民俗学総合演習Ⅰ	半期							●		2					
		日本語総合演習Ⅱ	半期								●	2					◎
		アジア史総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		ヨーロッパ史総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		考古学総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		民俗学総合演習Ⅱ	半期								●	2					
		日本史論文演習Ⅰ	半期									●		2	◎	2単位選択必修。論文演習の選択にあたっては、総合演習と同一分野の同一教員担当のものとする。	
		アジア史論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		ヨーロッパ史論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		考古学論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		民俗学論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		日本語論文演習Ⅱ	半期										●	2			◎
		アジア史論文演習Ⅱ	半期										●	2			
		ヨーロッパ史論文演習Ⅱ	半期										●	2			
考古学論文演習Ⅱ	半期										●	2					
民俗学論文演習Ⅱ	半期										●	2					

文学部歴史学科課程表
2019年度入学生適用 (その3)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考		
				1 年			2 年			3 年			4 年					
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位			
																◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目		
専 門 教 育 科 目	第 2 類 （ 講 義 ）	日本史概説Ⅰ	半期	●		2											◎	5分野（「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」・「アジア史概説Ⅰ・Ⅱ」・「ヨーロッパ史概説Ⅰ・Ⅱ」・「考古学概説Ⅰ・Ⅱ」・「民俗学概説Ⅰ・Ⅱ」）から4分野（8科目16単位）選択必修。
		日本史概説Ⅱ	半期		●	2												
		アジア史概説Ⅰ	半期	●		2												
		アジア史概説Ⅱ	半期		●	2												
		ヨーロッパ史概説Ⅰ	半期	●		2												
		ヨーロッパ史概説Ⅱ	半期		●	2												
		考古学概説Ⅰ	半期	●		2												
		考古学概説Ⅱ	半期		●	2												
		民俗学概説Ⅰ	半期	●		2												
		民俗学概説Ⅱ	半期		●	2												
		歴史の中の東北	半期					●	2									
		江戸から明治へ	半期				●		2									
		イスラーム世界の形成と展開	半期				●		2									
		伝統アジアの社会と文化	半期							●		2						
		ヨーロッパ近現代の国家と社会	半期								●	2						
		アジアにおける国家の誕生	半期								●	2						
		近現代日本と東アジア	半期								●	2						
		ヨーロッパ中近世社会史	半期								●	2						
		アジアの王権と思想	半期									●	2					
		日本史の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		日本史の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		アジア史の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		アジア史の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		考古学の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		考古学の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
		民俗学の諸問題Ⅰ	半期								●	2						
		民俗学の諸問題Ⅱ	半期									●	2					
	第 3 類 （ 講 読 ・ 実 習 ）	古文書学Ⅰ	半期				●		2									
		古文書学Ⅱ	半期					●	2									
		アジア史基礎講読Ⅰ	半期				●		2									
		アジア史基礎講読Ⅱ	半期					●	2									
		ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ	半期				●		2									
ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ		半期					●	2										
民俗学調査入門Ⅰ		半期				●		1										
民俗学調査入門Ⅱ		半期					●	1										
考古学実習Ⅰ		半期				●		2										
ギリシア語初級Ⅰ		半期				●		2										
ギリシア語初級Ⅱ		半期					●	2										
日本史専門講読Ⅰ		半期							●		2							
日本史専門講読Ⅱ		半期								●	2							
日本史専門講読Ⅲ		半期										●		2				
アジア史専門講読Ⅰ		半期							●		2							
アジア史専門講読Ⅱ		半期								●	2							
アジア史専門講読Ⅲ		半期										●		2				
ヨーロッパ史専門講読Ⅰ		半期							●		2							
ヨーロッパ史専門講読Ⅱ		半期								●	2							
ヨーロッパ史専門講読Ⅲ		半期										●		2				
考古学実習Ⅱ		半期							●		2							
考古学実習Ⅲ		半期								●	2							

文学部歴史学科課程表
2019年度入学生適用（その4）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
専 門 教 育 科 目	第 3 類 （講 読 ・ 実 習）	民俗学実習Ⅰ	半期							●		2					
		民俗学実習Ⅱ	半期								●	2					
		ラテン語初級Ⅰ	半期							●		2					
		ラテン語初級Ⅱ	半期								●	2					
		ギリシア語中級Ⅰ	半期							●		2					
		ギリシア語中級Ⅱ	半期								●	2					
		ラテン語中級Ⅰ	半期										●		2		
		ラテン語中級Ⅱ	半期											●	2		
	第 4 類 （ 隣 接 科 目 ）	地誌学Ⅰ	半期						2								・学芸員、司書、社会教育主事資格を得るための履修方法は、大学要覧（学芸員課程、司書課程、社会教育主事課程）を参照のこと。
		地誌学Ⅱ	半期						2								
		日本文学史Ⅰ	半期				●		2								
		日本文学史Ⅱ	半期					●	2								
		海外研究Ⅰ	半期				●		2								
		海外研究Ⅱ	半期					●	2								
		自然地理学Ⅰ	半期							●		2					
		自然地理学Ⅱ	半期								●	2					
		人文地理学Ⅰ	半期							●		2					
		人文地理学Ⅱ	半期								●	2					
		日本美術史	半期								●	2					
		ヨーロッパ美術史	半期							●		2					
		生活文化史Ⅰ	半期							●		2					
		生活文化史Ⅱ	半期								●	2					
		日本経済史Ⅰ	半期							●		2					
		日本経済史Ⅱ	半期								●	2					
		西洋経済史Ⅰ	半期							●		2					
		西洋経済史Ⅱ	半期								●	2					
		日本思想史Ⅰ	半期							●		2					
		日本思想史Ⅱ	半期								●	2					

文学部歴史学科課程表（資格科目）

2019年度入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年									備 考		
			1 年			2 年			3 年			4 年		
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位
教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2									☆
	教育基礎論	半期	●		2									☆ 社会教育主事課程と共通
	教育の制度と経営	半期		●	2									☆ 社会教育主事課程と共通
	教育心理学	半期						2						☆
	教育課程論	半期				●		2						☆
	道德教育の理論と方法	半期						2						☆ 中学校教育職員免許状取得に必修
	教育の方法と技術	半期						2						☆
	教育相談の理論と方法	半期						2						☆
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2						☆
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	半期					●	2						☆
	社会・公民科教育法(概論・理論)	半期					●	2						☆
	社会・地理歴史科教育法(実践)	半期							●	2				☆
	社会・公民科教育法(実践)	半期							●	2				☆
	社会・地理歴史科教育法(応用)	半期							●	2				☆
	社会・公民科教育法(応用)	半期							●	2				☆
	社会科教育法(発展)	半期								2				☆
	特別支援教育論	半期								2				☆
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期								2				☆
	介護体験実習	通年								2				☆ 中学校教育職員免許状取得に必修
	教育実習Ⅰ	通年											3	☆
	教育実習Ⅱ	通年											2	☆ 中学校教育職員免許状取得に必修
	教職実践演習(中・高)	半期										●	2	☆
学 芸 員 に 関 する 科 目	博物館概論	半期	●		2									☆ 社会教育主事課程と共通
	博物館教育論	半期			2									☆ 社会教育主事課程と共通
	生涯学習概論Ⅰ	半期				●		2						☆ 社会教育主事課程・司書課程と共通
	生涯学習概論Ⅱ	半期					●	2						☆ 社会教育主事課程と共通
	博物館経営論	半期						2						☆
	博物館資料論	半期				●		2						☆
	博物館資料保存論	半期								2				☆
	博物館展示論	半期								2				☆
	博物館情報・メディア論	半期								2				☆
	博物館実習Ⅰ(学内実習)	通年							●	●	1			☆
	博物館実習Ⅱ(見学実習)	通年							●	●	1			☆
	博物館実習Ⅲ(館園実習)	通年							●	●	1			☆
司 書 に 関 する 科 目	図書館概論	半期				●		2						☆ 社会教育主事課程と共通
	図書館情報技術論	半期								2				☆
	図書館サービス概論	半期								2				☆
	情報資源組織論	半期								2				☆
	図書・図書館史	半期								2				
	図書館情報資源概論	半期							●	2				☆
	図書館制度・経営論	半期										2		☆ 社会教育主事課程と共通
	情報サービス論	半期										2		☆
	情報サービス演習A	半期										1		☆
	情報サービス演習B	半期										1		☆
	情報資源組織演習	通年									●	●	2	☆
	図書館情報資源特論	半期										1		
	図書館施設論	半期										1		

文学部歴史学科課程表（資格科目）
2019年度入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ☆印－必修科目 ☆印－選択必修科目	
関する科目 司書教諭に	学校経営と学校図書館	半期								2				☆ 司書課程と共通		
	学校図書館メディアの構成	半期								2				☆		
	学習指導と学校図書館	半期								2				☆ 司書課程と共通		
	読書と豊かな人間性	半期								2				☆ 司書課程と共通		
	情報メディアの活用	半期								2				☆		
社会教育主事に関する科目	市民活動論	半期			2										※社会教育主事資格を得るための履修方法は、大学要覧（社会教育主事課程）を参照のこと	
	ボランティア活動	半期						2								
	スポーツ指導論	半期						2								
	地域構想論	半期						2								
	地域スポーツ論	半期						2								
	スポーツマネジメント	半期								2						
	社会教育課題研究	通年							●	●	4			} ☆ 社会教育課題研究 4 単位もしくは社会教育実習 2 単位と教育調査実習 A および B 4 単位の計 6 単位のいずれか選択必修		
	社会教育実習	通年							●	●	2					
	教育調査実習 A	半期									2					
	教育調査実習 B	半期									2					
	現代社会と社会教育	半期									2			☆		
	市民性育成の教育論	半期									2					
	地域教育論	半期									2					
	地域文化論	半期									2					
	地域社会論	半期									2					
社会教育計画	通年										●	●	4	☆		

歴史学科卒業要件（2019 年度入学生）

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	T G ベーシック	人間的基礎	10	34
		知的基礎	8	
	学科教養科目		16	
地域教育科目（必修科目）				2
外国語科目	第 1 類（必修科目）		4	6
	第 2 類		2	
専門教育科目	第 1 類（演習）		12	56
	第 2 類（講義）		32	
	第 3 類（講読・実習）		8	
	第 4 類（隣接科目）		4	
教養教育科目 地域教育科目 外国語科目第 1 類及び第 2 類 保健体育科目 専門教育科目 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				26
合 計				124

※歴史学科4 年次の学生は、別に定める要件を満たせば、大学院ヨーロッパ文化史・アジア文化史講義科目（当該年度開講科目に限る）を履修することができる。また、当該学生が大学院に進学した場合は、大学院の修得単位として認定することができる。

歴史学科進級要件

・3 学年次への進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目		合計30 単位以上
外国語科目	第1 類及び第2 類	4 単位以上
専門教育科目	第1 類	2 単位以上
	第2 ～4 類	16 単位以上
合 計		52 単位以上

歴史学科専修修了該当科目一覧表

日本史分野	アジア史分野	ヨーロッパ史分野	考古学分野	民俗学分野
日本史総合演習Ⅰ	アジア史総合演習Ⅰ	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ	考古学総合演習Ⅰ	民俗学総合演習Ⅰ
日本史総合演習Ⅱ	アジア史総合演習Ⅱ	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ	考古学総合演習Ⅱ	民族学総合演習Ⅱ
日本史論文演習Ⅰ	アジア史論文演習Ⅰ	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ	考古学論文演習Ⅰ	民俗学論文演習Ⅰ
日本史論文演習Ⅱ	アジア史論文演習Ⅱ	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ	考古学論文演習Ⅱ	民俗学論文演習Ⅱ
日本史専門講読Ⅰ	アジア史専門講読Ⅰ	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ	考古学実習Ⅰ	民俗学実習Ⅰ
日本史専門講読Ⅱ	アジア史専門講読Ⅱ	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ	考古学実習Ⅱ	民俗学実習Ⅱ
日本史専門講読Ⅲ	アジア史専門講読Ⅲ	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ	考古学実習Ⅲ	民俗学の諸問題Ⅰ
日本史の諸問題Ⅰ	アジア史の諸問題Ⅰ	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ	考古学の諸問題Ⅰ	民俗学の諸問題Ⅱ
日本史の諸問題Ⅱ	アジア史の諸問題Ⅱ	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ	考古学の諸問題Ⅱ	

※日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学各分野において、「総合演習」「論文演習」「専門講読」「実習」及び「諸問題」の中から、同一分野の科目を合わせて16 単位以上履修すれば、当該分野の「専修」修了を認める。

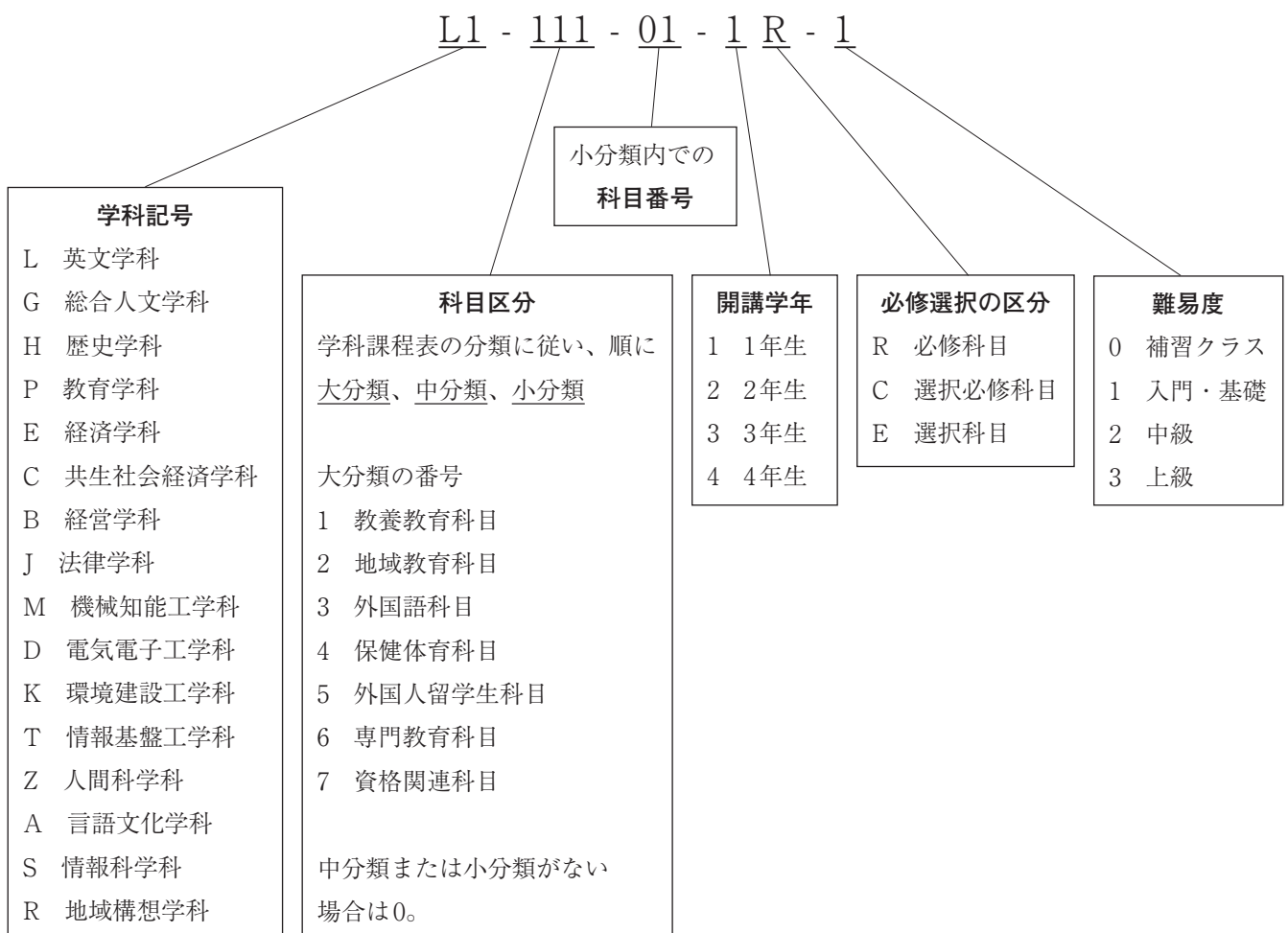
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、
学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
H1-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
H1-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
H1-111-03-3C-2	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	◎		○		
H1-111-04-3C-2	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	◎		○		
H1-111-05-3C-2	キリスト教学C(キリスト教と文化)	◎		○		
H1-111-06-3C-2	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	◎		○		
H1-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
H1-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
H1-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
H1-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
H1-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
H1-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
H1-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
H1-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
H1-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
H1-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
H1-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
H1-112-08-1E-1	研究・発表の技法		◎			
H1-120-01-1E-1	哲学			◎		
H1-120-02-1E-1	芸術論			◎		
H1-120-03-1E-1	歴史学			◎		
H1-120-04-1E-1	心理学			◎		
H1-120-05-1E-1	基礎社会学			◎		
H1-120-06-1E-1	基礎経済学			◎		
H1-120-07-1E-1	法学			◎		
H1-120-08-1E-1	日本国憲法			◎		
H1-120-09-2E-1	環境の科学			◎		
H1-120-10-2E-1	自然の科学			◎		
H1-120-11-2E-1	倫理学			◎		
H1-120-12-2E-1	文学			◎		
H1-120-13-1E-1	文化人類学			◎		
H1-120-14-1E-1	現代の政治			◎		
H1-120-15-2E-1	社会福祉論			◎		
H1-120-16-2E-1	東北地域論			◎		
H1-120-17-2E-1	先端の科学と技術			◎		
H1-120-18-2E-1	情報リテラシー			◎		
H1-120-19-2E-1	基礎地理学			◎		
H1-120-20-3E-2	東北学院の歴史	○		○		
H1-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
H1-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
H1-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
H1-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
H1-310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○		
H1-310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○		
H1-310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○		
H1-310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○		
H1-310-05-2E-2	外国語コミュニケーションⅠ		◎	○		
H1-310-06-2E-2	外国語コミュニケーションⅡ		◎	○		
H1-320-01-1C-1	ドイツ語ⅠA		◎	○		
H1-320-02-1C-1	フランス語ⅠA		◎	○		
H1-320-03-1C-1	中国語ⅠA		◎	○		
H1-320-04-1C-1	韓国・朝鮮語ⅠA		◎	○		
H1-320-05-1C-1	ドイツ語ⅠB		◎	○		
H1-320-06-1C-1	フランス語ⅠB		◎	○		
H1-320-07-1C-1	中国語ⅠB		◎	○		
H1-320-08-1C-1	韓国・朝鮮語ⅠB		◎	○		
H1-320-09-2E-2	ドイツ語ⅡA		◎	○		
H1-320-10-2E-2	フランス語ⅡA		◎	○		
H1-320-11-2E-2	中国語ⅡA		◎	○		
H1-320-12-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡA		◎	○		
H1-320-13-2E-2	ドイツ語ⅡB		◎	○		
H1-320-14-2E-2	フランス語ⅡB		◎	○		
H1-320-15-2E-2	中国語ⅡB		◎	○		
H1-320-16-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡB		◎	○		
H1-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
H1-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○		
H1-400-01-1E-1	体育講義			◎		
H1-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
H1-510-01-1E-1	日本事情A			◎		
H1-510-02-1E-1	日本事情B			◎		
H1-510-03-1E-1	日本事情C			◎		
H1-520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○		
H1-520-02-1E-1	日本語ⅠB		◎	○		
H1-520-03-2E-2	日本語ⅡA		◎	○		
H1-520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
H1-610-01-2R-1	基礎演習Ⅰ	◎			○	
H1-610-02-2R-1	基礎演習Ⅱ	◎			○	
H1-610-03-3C-2	日本史総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-04-3C-2	アジア史総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-05-3C-2	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-06-3C-2	考古学総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-07-3C-2	民俗学総合演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-08-3C-2	日本史総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-09-3C-2	アジア史総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-10-3C-2	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-11-3C-2	考古学総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-12-3C-2	民俗学総合演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-13-4C-3	日本史論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-14-4C-3	アジア史論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-15-4C-3	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-16-4C-3	考古学論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-17-4C-3	民俗学論文演習Ⅰ		◎	○		
H1-610-18-4C-3	日本史論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-19-4C-3	アジア史論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-20-4C-3	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-21-4C-3	考古学論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-610-22-4C-3	民俗学論文演習Ⅱ		◎	○		
H1-620-01-1C-1	日本史概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-02-1C-1	日本史概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-03-1C-1	アジア史概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-04-1C-1	アジア史概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-05-1C-1	ヨーロッパ史概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-06-1C-1	ヨーロッパ史概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-07-1C-1	考古学概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-08-1C-1	考古学概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-09-1C-1	民俗学概説Ⅰ	◎			○	
H1-620-10-1C-1	民俗学概説Ⅱ	◎			○	
H1-620-11-2E-2	歴史の中の東北	◎			○	
H1-620-12-2E-2	江戸から明治へ	◎			○	
H1-620-13-2E-2	イスラーム世界の形成と展開	◎			○	
H1-620-14-3E-2	伝統アジアの社会と文化	◎			○	
H1-620-15-3E-2	ヨーロッパ近現代の国家と社会	◎			○	
H1-620-16-3E-2	アジアにおける国家の誕生	◎			○	
H1-620-17-3E-2	近現代日本と東アジア	◎			○	
H1-620-18-3E-2	ヨーロッパ中近世社会史	◎			○	
H1-620-19-3E-2	アジアの王権と思想	◎			○	
H1-620-20-3E-2	日本史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-21-3E-2	日本史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-22-3E-2	アジア史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-23-3E-2	アジア史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-24-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-25-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-26-3E-2	考古学の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-27-3E-2	考古学の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-620-28-3E-2	民俗学の諸問題Ⅰ			○	◎	
H1-620-29-3E-2	民俗学の諸問題Ⅱ			○	◎	
H1-630-01-2E-1	古文書学Ⅰ	◎		○		
H1-630-02-2E-1	古文書学Ⅱ	◎		○		
H1-630-03-2E-1	アジア史基礎講読Ⅰ	◎		○		
H1-630-04-2E-1	アジア史基礎講読Ⅱ	◎		○		
H1-630-05-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ	◎		○		
H1-630-06-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ	◎		○		
H1-630-07-2E-1	民俗学調査入門Ⅰ			○		◎
H1-630-08-2E-1	民俗学調査入門Ⅱ			○		◎
H1-630-09-2E-1	考古学実習Ⅰ			○		◎
H1-630-10-2E-1	ギリシア語初級Ⅰ			○	◎	
H1-630-11-2E-2	ギリシア語初級Ⅱ			○	◎	
H1-630-12-3E-2	日本史専門講読Ⅰ		◎			○
H1-630-13-3E-2	日本史専門講読Ⅱ		◎			○
H1-630-14-4E-3	日本史専門講読Ⅲ		◎			○
H1-630-15-3E-2	アジア史専門講読Ⅰ		◎			○
H1-630-16-3E-2	アジア史専門講読Ⅱ		◎			○
H1-630-17-4E-3	アジア史専門講読Ⅲ		◎			○
H1-630-18-3E-2	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ		◎			○
H1-630-19-3E-2	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ		◎			○
H1-630-20-4E-3	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ		◎			○
H1-630-21-3E-2	考古学実習Ⅱ			○		◎
H1-630-22-3E-3	考古学実習Ⅲ			○		◎
H1-630-23-3E-2	民俗学実習Ⅰ			○		◎
H1-630-24-3E-3	民俗学実習Ⅱ			○		◎

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
H1-630-25-3E-1	ラテン語初級Ⅰ	◎		○		
H1-630-26-3E-2	ラテン語初級Ⅱ	◎		○		
H1-630-27-3E-2	ギリシア語中級Ⅰ	◎		○		
H1-630-28-3E-3	ギリシア語中級Ⅱ	◎		○		
H1-630-29-4E-2	ラテン語中級Ⅰ	◎		○		
H1-630-30-4E-3	ラテン語中級Ⅱ	◎		○		
H1-640-01-2E-2	地誌学Ⅰ	○				◎
H1-640-02-2E-2	地誌学Ⅱ	○				◎
H1-640-03-2E-2	日本文学史Ⅰ	○				◎
H1-640-04-2E-2	日本文学史Ⅱ	○				◎
H1-640-05-2E-2	海外研究Ⅰ	○				◎
H1-640-06-2E-2	海外研究Ⅱ	○				◎
H1-640-07-3E-2	自然地理学Ⅰ	○				◎
H1-640-08-3E-2	自然地理学Ⅱ	○				◎
H1-640-09-3E-2	人文地理学Ⅰ	○				◎
H1-640-10-3E-2	人文地理学Ⅱ	○				◎
H1-640-11-3E-2	日本美術史	○				◎
H1-640-12-3E-2	ヨーロッパ美術史	○				◎
H1-640-13-3E-2	生活文化史Ⅰ	◎				○
H1-640-14-3E-2	生活文化史Ⅱ	◎				○
H1-640-15-3E-2	日本経済史Ⅰ	◎				○
H1-640-16-3E-2	日本経済史Ⅱ	◎				○
H1-640-17-3E-2	西洋経済史Ⅰ	◎				○
H1-640-18-3E-2	西洋経済史Ⅱ	◎				○
H1-640-19-3E-2	日本思想史Ⅰ	◎				○
H1-640-20-3E-2	日本思想史Ⅱ	◎				○
H1-710-01-1R-1	現代教職論			◎		
H1-710-02-1R-1	教育基礎論			◎		
H1-710-03-1R-1	教育の制度と経営			◎		
H1-710-04-2R-2	教育心理学			◎		
H1-710-05-2R-2	教育課程論			◎		
H1-710-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎		
H1-710-07-2R-2	教育の方法と技術			◎		
H1-710-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎		
H1-710-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎		
H1-710-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)			○	◎	
H1-710-11-2R-3	社会・公民科教育法(概論・理論)			○	◎	
H1-710-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法(実践)			○	◎	
H1-710-13-3R-3	社会・公民科教育法(実践)			○	◎	
H1-710-14-3R-3	社会・地理歴史科教育法(応用)			○	◎	
H1-710-15-3R-3	社会・公民科教育法(応用)			○	◎	
H1-710-16-3R-3	社会科教育法(発展)			○	◎	
H1-710-17-3R-3	特別支援教育論			○	◎	
H1-710-18-3E-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎	
H1-710-19-3R-2	介護体験実習			◎		
H1-710-20-4R-3	教育実習Ⅰ				○	◎
H1-710-21-4R-3	教育実習Ⅱ				○	◎
H1-710-22-4R-3	教職実践演習(中・高)					◎
H1-720-01-1R-1	博物館概論			◎		
H1-720-02-1R-1	博物館教育論			◎		
H1-720-03-2R-1	生涯学習概論Ⅰ			◎		
H1-720-04-2R-1	生涯学習概論Ⅱ			◎		
H1-720-05-2R-1	博物館経営論			◎		
H1-720-06-2R-2	博物館資料論			◎		
H1-720-07-3R-2	博物館資料保存論			◎		
H1-720-08-3R-2	博物館展示論			◎		
H1-720-09-3R-2	博物館情報・メディア論			◎		
H1-720-10-3R-3	博物館実習Ⅰ(学内実習)			◎		
H1-720-11-3R-3	博物館実習Ⅱ(見学実習)			◎		
H1-720-12-3R-3	博物館実習Ⅲ(館園実習)			◎		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
H1-730-01-2R-1	図書館概論			◎		
H1-730-02-3R-2	図書館情報技術論			◎		
H1-730-03-3R-2	図書館サービス概論			◎		
H1-730-04-3R-2	情報資源組織論			◎		
H1-730-05-3E-2	図書・図書館史			◎		
H1-730-06-3R-2	図書館情報資源概論			◎		
H1-730-07-4R-3	図書館制度・経営論			◎		
H1-730-08-4R-3	情報サービス論			◎		
H1-730-09-4R-3	情報サービス演習A			◎		
H1-730-10-4R-3	情報サービス演習B			◎		
H1-730-11-4R-3	情報資源組織演習			◎		
H1-730-12-4E-3	図書館情報資源特論			◎		
H1-730-13-4E-3	図書館施設論			◎		
H1-740-01-3R-2	学校経営と学校図書館			◎		
H1-740-02-3R-2	学校図書館メディアの構成			◎		
H1-740-03-3R-2	学習指導と学校図書館			◎		
H1-740-04-3R-2	読書と豊かな人間性			◎		
H1-740-05-3R-2	情報メディアの活用			◎		
H1-750-01-1E-1	市民活動論			◎		
H1-750-02-2E-1	ボランティア活動			◎		
H1-750-03-2E-1	スポーツ指導論			◎		
H1-750-04-2E-1	地域構想論			◎		
H1-750-05-2E-1	地域スポーツ論			◎		
H1-750-06-3E-2	スポーツマネジメント			◎		
H1-750-07-3C-2	社会教育課題研究			○		◎
H1-750-08-3C-2	社会教育実習			○		◎
H1-750-09-3C-2	教育調査実習A			◎		
H1-750-10-3C-2	教育調査実習B			◎		
H1-750-11-3R-2	現代社会と社会教育			◎		
H1-750-12-3E-2	市民性育成の教育論			◎		
H1-750-13-3E-2	地域教育論			◎		
H1-750-14-3E-2	地域文化論			◎		
H1-750-15-3E-2	地域社会論			◎		
H1-750-16-4R-3	社会教育計画			◎		

文学部歴史学科課程表

2018年度入学生適用 (その1)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
					1 年			2 年			3 年			4 年				
					前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
教 養 教 育 科 目	第 1 類	人 間 的 基 礎	聖書を学ぶ	半期	●		2									◎	4科目のうち1科目2単位必修。計 4単位まで卒業単位に算入すること ができる。	
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2									◎		
			キリスト教学A（キリスト教と倫理）	半期								2			}			
			キリスト教学B（キリスト教と宗教）	半期							2							
			キリスト教学C（キリスト教と文化）	半期							2							
			キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	半期							2							
		市民社会を生きる	半期	○	○	2												
		地球社会を生きる	半期				○	○	2									
		科学技術社会を生きる	半期				○	○	2									
		キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2												
		知 的 基 礎	クリティカル・シンキング	半期							○	○	2					
			数理的思考の基礎	半期	○	○	2											
			統計的思考の基礎	半期	○	○	2											
			科学的思考の基礎	半期				○	○	2								
			情報化社会の基礎	半期	○	○	2											
			メディア・リテラシー	半期				○	○	2								
			読解・作文の技法	半期				●		2						◎		
			研究・発表の技法	半期					●	2						◎		
	第 2 類	哲学	半期	○	○	2												
		芸術論	半期	○	○	2												
		歴史学	半期	○	○	2												
		心理学	半期	○	○	2												
		基礎社会学	半期	○	○	2												
		基礎経済学	半期	○	○	2												
		法学	半期	○	○	2												
		日本国憲法	半期	○	○	2												
		環境の科学	半期				○	○	2									
		自然の科学	半期				○	○	2									
		倫理学	半期				○	○	2									
		文学	半期						2									
		文化人類学	半期	○	○	2												
		現代の政治	半期	○	○	2												
		社会福祉論	半期				○	○	2									
		東北地域論	半期				○	○	2									
		先端の科学と技術	半期				○	○	2									
		情報リテラシー	半期				○	○	2									
		基礎地理学	半期				○	○	2									
地域教育科目		震災と復興	半期	○	○	2												
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2							◎			
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2										
	地域課題演習	半期									4							
外 国 語 科 目	第 1 類	英語Ⅰ A（文献読解）	半期	●		1									}	◎ 1単位選択必修。		
		英語Ⅰ A（日常英語）	半期	●		1												
		英語Ⅰ A（英会話）	半期	●		1												
		英語Ⅰ B（文献読解）	半期		●	1									}	◎ 1単位選択必修。 Bの選択にあたってはAと同一の 科目を選択すること。		
		英語Ⅰ B（日常英語）	半期		●	1												
		英語Ⅰ B（英会話）	半期		●	1												
		英語Ⅱ A（文献読解）	半期				●		1						}	◎ 1単位選択必修。		
		英語Ⅱ A（日常英語）	半期				●		1									
		英語Ⅱ A（英会話）	半期				●		1									
		英語Ⅱ B（文献読解）	半期					●	1						}	◎ 1単位選択必修。 Bの選択にあたってはAと同一の 科目を選択すること。		
		英語Ⅱ B（日常英語）	半期					●	1									
		英語Ⅱ B（英会話）	半期					●	1									

文学部歴史学科課程表

2018年度入学生適用 (その2)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
外国語科目	第 2 類	ドイツ語Ⅰ A	半期	●		1									◎	1単位選択必修。 1単位選択必修。 Bの選択にあたってはAと同一の科目を選択すること。 Ⅱの選択にあたってはⅠと同一外国語を履修すること。	
		フランス語Ⅰ A	半期	●		1											
		中国語Ⅰ A	半期	●		1											
		韓国・朝鮮語Ⅰ A	半期	●		1											
		ドイツ語Ⅰ B	半期		●		1								◎		
		フランス語Ⅰ B	半期		●		1										
		中国語Ⅰ B	半期		●		1										
		韓国・朝鮮語Ⅰ B	半期		●		1										
		ドイツ語Ⅱ A	半期				●		1								
		フランス語Ⅱ A	半期				●		1								
		中国語Ⅱ A	半期				●		1								
		韓国・朝鮮語Ⅱ A	半期				●		1								
		ドイツ語Ⅱ B	半期					●		1							
		フランス語Ⅱ B	半期					●		1							
		中国語Ⅱ B	半期					●		1							
		韓国・朝鮮語Ⅱ B	半期					●		1							
保健体育科目		体育講義	半期			2											
		スポーツ実技	通年			2											
外国人留学生科目	第 1 類	日本事情 A	半期			2											
		日本事情 B	半期			2											
		日本事情 C	半期			2											
	第 2 類	日本語Ⅰ	通年			2											
日本語Ⅱ		通年					2										
専門教育科目	第 1 類	日本史概説Ⅰ	半期	●		2									◎	5分野（「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」・「アジア史概説Ⅰ・Ⅱ」・「ヨーロッパ史概説Ⅰ・Ⅱ」・「考古学概説Ⅰ・Ⅱ」・「民俗学概説Ⅰ・Ⅱ」）から4分野（8科目16単位）選択必修。 2単位選択必修。 2単位選択必修。Ⅱの選択にあたっては、Ⅰと同一分野の同一教員担当のものとする。 2単位選択必修。論文演習の選択にあたっては、総合演習と同一分野の同一教員担当のものとする。 2単位選択必修。Ⅱの選択にあたっては、Ⅰと同一分野の同一教員担当のものとする。	
		日本史概説Ⅱ	半期		●	2											
		アジア史概説Ⅰ	半期	●		2											
		アジア史概説Ⅱ	半期		●	2											
		ヨーロッパ史概説Ⅰ	半期	●		2											
		ヨーロッパ史概説Ⅱ	半期		●	2											
		考古学概説Ⅰ	半期	●		2											
		考古学概説Ⅱ	半期		●	2											
		民俗学概説Ⅰ	半期	●		2											
		民俗学概説Ⅱ	半期		●	2											
		日本史総合演習Ⅰ	半期						●		2				◎		
		アジア史総合演習Ⅰ	半期						●		2						
		ヨーロッパ史総合演習Ⅰ	半期						●		2						
		考古学総合演習Ⅰ	半期						●		2						
		民俗学総合演習Ⅰ	半期						●		2						
		日本史総合演習Ⅱ	半期							●		2			◎		
		アジア史総合演習Ⅱ	半期							●		2					
		ヨーロッパ史総合演習Ⅱ	半期							●		2					
		考古学総合演習Ⅱ	半期							●		2					
		民俗学総合演習Ⅱ	半期							●		2					
		日本史論文演習Ⅰ	半期									●		2	◎		
		アジア史論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		ヨーロッパ史論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		考古学論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		民俗学論文演習Ⅰ	半期									●		2			
		日本史論文演習Ⅱ	半期										●	2	◎		
		アジア史論文演習Ⅱ	半期										●	2			
		ヨーロッパ史論文演習Ⅱ	半期										●	2			
考古学論文演習Ⅱ	半期										●	2					
民俗学論文演習Ⅱ	半期										●	2					

文学部歴史学科課程表

2018年度入学生適用 (その3)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
																◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目	
専 門 教 育 科 目	第 2 類	歴史の中の東北	半期					●		2							
		ヨーロッパ近現代の国家と社会	半期					●		2							
		江戸から明治へ	半期					●		2							
		アジアにおける国家の誕生	半期					●		2							
		伝統アジアの社会と文化	半期						●	2							
		イスラーム世界の形成と展開	半期					●		2							
		文化遺産と現代社会	半期					●		2							
		近現代日本と東アジア	半期								●		2				
		ヨーロッパ中近世社会史	半期								●		2				
		アジアの王権と思想	半期								●		2				
	第 3 類	古文書学Ⅰ	半期					●		2							
		古文書学Ⅱ	半期						●	2							
		アジア史基礎講読Ⅰ	半期					●		2							
		アジア史基礎講読Ⅱ	半期						●	2							
		ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ	半期					●		2							
		ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ	半期						●	2							
		民俗学実習Ⅰ	半期					●		2							
		考古学実習Ⅰ	半期					●		2							
		ギリシア語初級Ⅰ	半期					●		2							
		ギリシア語初級Ⅱ	半期						●	2							
		日本史の諸問題Ⅰ	半期								●		2				
		日本史の諸問題Ⅱ	半期									●	2				
		アジア史の諸問題Ⅰ	半期								●		2				
		アジア史の諸問題Ⅱ	半期									●	2				
		ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ	半期								●		2				
		ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ	半期									●	2				
		考古学の諸問題Ⅰ	半期								●		2				
		考古学の諸問題Ⅱ	半期									●	2				
		民俗学の諸問題Ⅰ	半期								●		2				
		民俗学の諸問題Ⅱ	半期									●	2				
		日本史専門講読Ⅰ	半期								●		2				
		日本史専門講読Ⅱ	半期									●	2				
		日本史専門講読Ⅲ	半期											●		2	
		アジア史専門講読Ⅰ	半期								●		2				
		アジア史専門講読Ⅱ	半期									●	2				
		アジア史専門講読Ⅲ	半期											●		2	
		ヨーロッパ史専門講読Ⅰ	半期								●		2				
		ヨーロッパ史専門講読Ⅱ	半期									●	2				
		ヨーロッパ史専門講読Ⅲ	半期											●		2	
		考古学実習Ⅱ	半期								●		2				
		考古学実習Ⅲ	半期									●	2				
		民俗学実習Ⅱ	半期								●		2				
		民俗学実習Ⅲ	半期									●	2				
		ラテン語初級Ⅰ	半期								●		2				
		ラテン語初級Ⅱ	半期									●	2				
		ギリシア語中級Ⅰ	半期								●		2				
ギリシア語中級Ⅱ	半期									●	2						
日本史の諸問題Ⅲ	半期											●		2			
アジア史の諸問題Ⅲ	半期											●		2			
ヨーロッパ史の諸問題Ⅲ	半期											●		2			
考古学の諸問題Ⅲ	半期											●		2			
民俗学の諸問題Ⅲ	半期											●		2			
ラテン語中級Ⅰ	半期												●	2			
ラテン語中級Ⅱ	半期											●		2			

文学部歴史学科課程表

2018年度入学生適用 (その4)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目	
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位		
専 門 教 育 科 目	第 4 類	博物館概論	●		2										・学芸員、図書館司書、社会教育 主事資格を得るための履修方法 は、大学要覧（学芸員課程、図 書館司書課程、社会教育主事課 程）を参照のこと。	
		自然地理学Ⅰ				●		2								
		自然地理学Ⅱ					●	2								
		人文地理学Ⅰ				●		2								
		人文地理学Ⅱ					●	2								
		地誌学Ⅰ						2								
		地誌学Ⅱ						2								
		日本文学史Ⅰ				●		2								
		日本文学史Ⅱ					●	2								
		海外研究Ⅰ				●		2								
		海外研究Ⅱ					●	2								
		図書館概論				●		2								
		博物館資料論				●		2								
		日本美術史								●	2					
		ヨーロッパ美術史							●		2					
		生活文化史Ⅰ							●		2					
		生活文化史Ⅱ								●	2					
		日本経済史Ⅰ							●		2					
		日本経済史Ⅱ								●	2					
		西洋経済史Ⅰ							●		2					
		西洋経済史Ⅱ								●	2					
		日本法制史Ⅰ							●		2					
		日本法制史Ⅱ								●	2					
		西洋法制史Ⅰ							●		2					
		西洋法制史Ⅱ								●	2					
		日本思想史Ⅰ							●		2					
		日本思想史Ⅱ								●	2					
		図書館情報資源概論							●	2						

文学部歴史学科課程表（資格科目）

2018年度入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	☆印－必修科目 } ☆印－選択必修科目	
教 職 等 に 関 する 科 目	教育原理	通年	●	●	4										☆ 社会教育主事課程と共通	
	現代教職論	半期			2										☆	
	教育心理学	半期						2							☆	
	教育課程論	半期				●		2							☆	
	道德教育の理論と方法	半期						2							☆ 中学校教員免許状取得者は必修	
	教育方法	半期						2							☆	
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				●		2							☆	
	教育の相談と指導Ⅱ	半期					●	2							☆	
	教科教育法Ⅰ（社会・地理歴史）	半期					●	2							☆	
	教科教育法Ⅰ（社会・公民）	半期								2					☆	
	教科教育法Ⅱ（社会・地理歴史）	半期								2					☆	
	教科教育法Ⅱ（社会・公民）	半期								2					☆	
	教科教育法Ⅲ（社会・地理歴史）	半期								2					☆	
	教科教育法Ⅲ（社会・公民）	半期								2					☆	
	教科教育法Ⅳ（社会）	半期								2					教科教育法Ⅳは、開講しない場合もある。	
	特別活動の理論と方法	半期								2					☆	
	介護体験実習	通年							●	●	2				☆ 中学校教員免許状取得者は必修	
	教育実習Ⅰ	通年										●	●	3	☆	
	教育実習Ⅱ	通年										●	●	2	☆ 中学校教員免許状取得者は必修	
	教職実践演習（中・高）	半期											●	2	☆	
博物館学芸員に関する科目	博物館教育論	半期			2										☆ 社会教育主事課程と共通	
	生涯学習概論	通年				●	●	4							☆ 社会教育主事課程・図書館司書課程と共通	
	博物館経営論	半期						2							☆ 社会教育主事課程と共通	
	博物館資料保存論	半期								2					☆	
	博物館展示論	半期								2					☆	
	博物館情報・メディア論	半期								2					☆	
	博物館実習Ⅰ（学内実習）	通年							●	●	1				☆	
	博物館実習Ⅱ（見学実習）	通年							●	●	1				☆	
	博物館実習Ⅲ（館園実習）	通年							●	●	1				☆	
図書館司書に関する科目	図書館情報技術論	半期									2				☆	
	図書館サービス概論	半期									2				☆	
	情報資源組織論	半期									2				☆	
	図書・図書館史	半期									2					
	図書館制度・経営論	半期											2		☆ 社会教育主事課程と共通	
	情報サービス論	半期											2		☆	
	情報サービス演習A	半期											1		☆	
	情報サービス演習B	半期											1		☆	
	情報資源組織演習	通年										●	●	2	☆	
	図書館情報資源特論	半期											1			
	図書館施設論	半期											1			
司関書教論に関する科目	学校経営と学校図書館	半期									2				☆ 図書館司書課程と共通	
	学校図書館メディアの構成	半期									2				☆	
	学習指導と学校図書館	半期									2				☆ 図書館司書課程と共通	
	読書と豊かな人間性	半期									2				☆ 図書館司書課程と共通	
	情報メディアの活用	半期									2				☆	

※教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧（教職課程）を参照のこと

※学芸員資格を得るための履修方法は、大学要覧（学芸員課程）を参照のこと

※図書館司書資格、学校図書館司書教諭資格を得るための履修方法は、大学要覧（司書課程）を参照のこと

文学部歴史学科課程表（資格科目）

2018年度入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ☆印－必修科目 ☆印－選択必修科目	
社 会 教 育 主 事 に 関 す る 科 目	市民活動論	半期			2											※社会教育主事資格を得るための 履修方法は、大学要覧（社会教育主事課程）を参照のこと
	教育工学実習	半期						2								
	ボランティア活動	半期						2								
	生涯学習論	半期						2								
	スポーツ指導論	半期						2								
	地域構想論	半期						2								
	地域福祉論	半期						2								
	地域スポーツ論	半期						2								
	スポーツマネジメント	半期								2						
	社会教育課題研究	通年							●	●	4				} ☆ 社会教育課題研究 4 単位もしくは社会教育実習 2 単位と教育調査実習 A および B 4 単位の計 6 単位のいずれか選択必修	
	社会教育実習	通年							●	●	2					
	教育調査実習 A	半期									2					
	教育調査実習 B	半期									2					
	現代社会と社会教育	半期									2				☆	
	市民性育成の教育論	半期									2					
	地域教育論	半期									2					
	地域政策論	半期									2					
	地域文化論	半期									2					
	地域社会論	半期									2					
	社会教育計画	通年										●	●	4	☆	

歴史学科卒業要件

(2018年度入学生適用)

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	第 1 類	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	第 2 類		18	
地域教育科目				2
外国語科目	第 1 類		4	6
	第 2 類		2	
専門教育科目	第 1 類		24	46
	第 2 類		12	
	第 3 類		10	
教養教育科目 地域教育科目 外国語科目 保健体育科目 専門教育科目 教職等に関する科目 他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				32
合 計				124

※歴史学科4年次の学生は、別に定める要件を満たせば、大学院ヨーロッパ文化史・アジア文化史講義科目（当該年度開講科目に限る）を履修することができる。また、当該学生が大学院に進学した場合は、大学院の修得単位として認定することができる。

歴史学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目		合計30単位以上
外国語科目	第1類・第2類	4単位以上
専門教育科目	第1類	12単位以上
	第2類・第3類	6単位以上
合 計		52単位以上

歴史学科専修修了該当科目一覧表

日本史分野	アジア史分野	ヨーロッパ史分野	考古学分野	民俗学分野
日本史総合演習Ⅰ	アジア史総合演習Ⅰ	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ	考古学総合演習Ⅰ	民俗学総合演習Ⅰ
日本史総合演習Ⅱ	アジア史総合演習Ⅱ	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ	考古学総合演習Ⅱ	民俗学総合演習Ⅱ
日本史論文演習Ⅰ	アジア史論文演習Ⅰ	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ	考古学論文演習Ⅰ	民俗学論文演習Ⅰ
日本史論文演習Ⅱ	アジア史論文演習Ⅱ	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ	考古学論文演習Ⅱ	民俗学論文演習Ⅱ
日本史専門講読Ⅰ	アジア史専門講読Ⅰ	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ	考古学実習Ⅰ	民俗学実習Ⅰ
日本史専門講読Ⅱ	アジア史専門講読Ⅱ	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ	考古学実習Ⅱ	民俗学実習Ⅱ
日本史専門講読Ⅲ	アジア史専門講読Ⅲ	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ	考古学実習Ⅲ	民俗学実習Ⅲ
日本史の諸問題Ⅰ	アジア史の諸問題Ⅰ	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ	考古学の諸問題Ⅰ	民俗学の諸問題Ⅰ
日本史の諸問題Ⅱ	アジア史の諸問題Ⅱ	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ	考古学の諸問題Ⅱ	民俗学の諸問題Ⅱ
日本史の諸問題Ⅲ	アジア史の諸問題Ⅲ	ヨーロッパ史の諸問題Ⅲ	考古学の諸問題Ⅲ	民俗学の諸問題Ⅲ

※日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学各分野において、「総合演習」「論文演習」「専門講読」「実習」及び「諸問題」の中から、同一分野の科目を合わせて16単位以上履修すれば、当該分野の「専修」修了を認める。

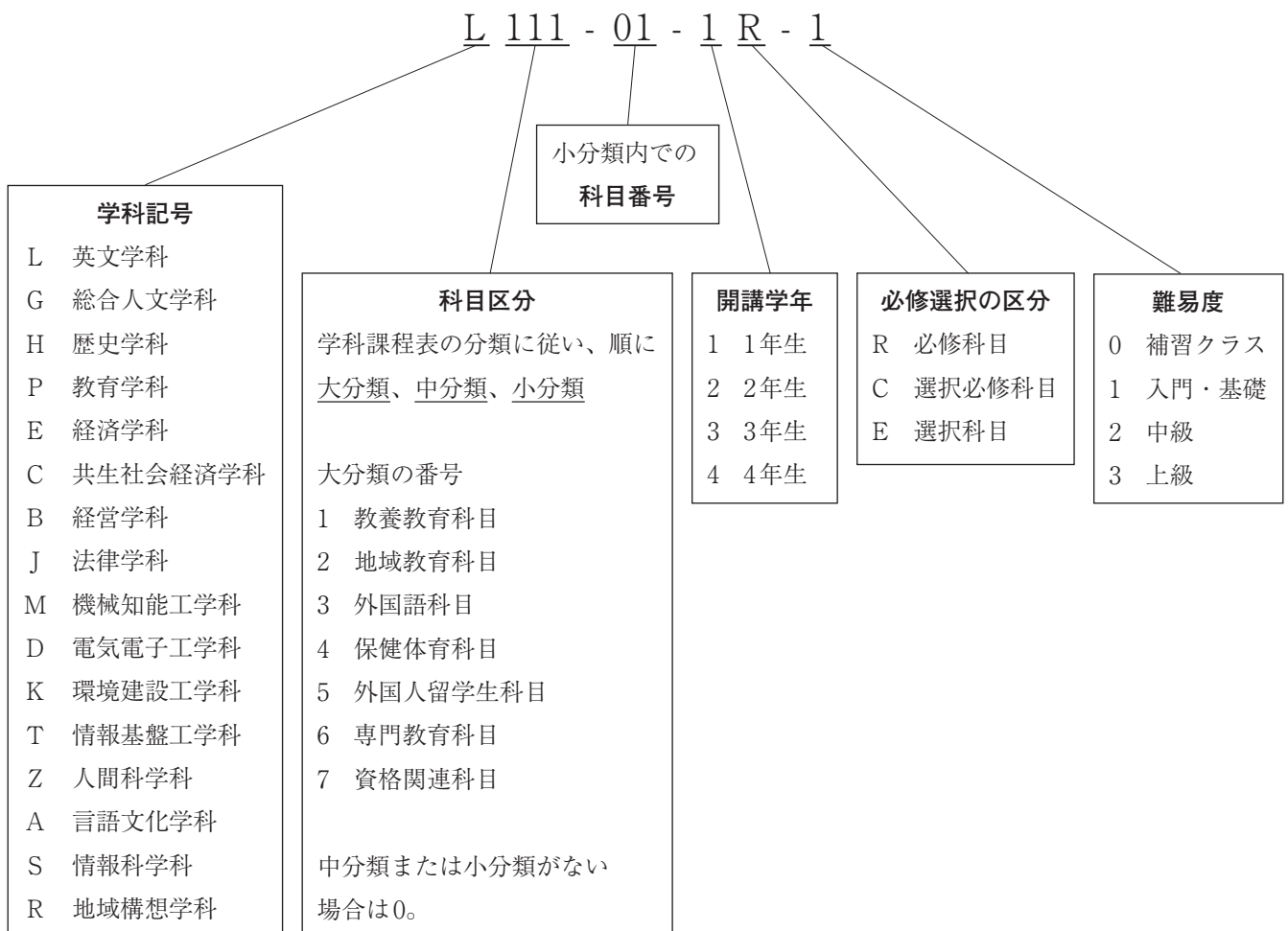
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



文学部 歴史学科 カリキュラムマップ（その1）

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
H111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
H111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
H111-03-3C-2	キリスト教学A（キリスト教と倫理）	◎		○		
H111-04-3C-2	キリスト教学B（キリスト教と宗教）	◎		○		
H111-05-3C-2	キリスト教学C（キリスト教と文化）	◎		○		
H111-06-3C-2	キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	◎		○		
H111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
H111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
H111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
H111-10-1E-1	キャリア形成と大学生生活			◎		
H112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
H112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
H112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
H112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
H112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
H112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
H112-07-2R-1	読解・作文の技法		◎			
H112-08-2R-1	研究・発表の技法		◎			
H120-01-1E-1	哲学		○	◎		
H120-02-1E-1	芸術論		○	◎		
H120-03-1E-1	歴史学		○	◎		
H120-04-1E-1	心理学		○	◎		
H120-05-1E-1	基礎社会学		○	◎		
H120-06-1E-1	基礎経済学		○	◎		
H120-07-1E-1	法学		○	◎		
H120-08-1E-1	日本国憲法		○	◎		
H120-09-2E-1	環境の科学		○	◎		
H120-10-2E-1	自然の科学		○	◎		
H120-11-2E-1	倫理学		○	◎		
H120-12-2E-1	文学		○	◎		
H120-13-1E-1	文化人類学		○	◎		
H120-14-1E-1	現代の政治		○	◎		
H120-15-2E-1	社会福祉論		○	◎		
H120-16-2E-1	東北地域論		○	◎		
H120-17-2E-1	先端の科学と技術		○	◎		
H120-18-2E-1	情報リテラシー		○	◎		
H120-19-2E-1	基礎地理学		○	◎		
H200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
H200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
H200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
H200-04-3E-2	地域課題演習					◎
H310-01-1C-1	英語ⅠA（文献読解）		◎	○		
H310-02-1C-1	英語ⅠA（日常英語）		◎	○		
H310-03-1C-1	英語ⅠA（英会話）		◎	○		
H310-04-1C-1	英語ⅠB（文献読解）		◎	○		
H310-05-1C-1	英語ⅠB（日常英語）		◎	○		
H310-06-1C-1	英語ⅠB（英会話）		◎	○		
H310-07-2C-2	英語ⅡA（文献読解）		◎	○		
H310-08-2C-2	英語ⅡA（日常英語）		◎	○		
H310-09-2C-2	英語ⅡA（英会話）		◎	○		
H310-10-2C-2	英語ⅡB（文献読解）		◎	○		
H310-11-2C-2	英語ⅡB（日常英語）		◎	○		
H310-12-2C-2	英語ⅡB（英会話）		◎	○		
H320-01-1C-1	ドイツ語ⅠA		◎	○		
H320-02-1C-1	フランス語ⅠA		◎	○		
H320-03-1C-1	中国語ⅠA		◎	○		
H320-04-1C-1	韓国・朝鮮語ⅠA		◎	○		
H320-05-1C-1	ドイツ語ⅠB		◎	○		
H320-06-1C-1	フランス語ⅠB		◎	○		
H320-07-1C-1	中国語ⅠB		◎	○		
H320-08-1C-1	韓国・朝鮮語ⅠB		◎	○		
H320-09-2E-2	ドイツ語ⅡA		◎	○		
H320-10-2E-2	フランス語ⅡA		◎	○		
H320-11-2E-2	中国語ⅡA		◎	○		
H320-12-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡA		◎	○		
H320-13-2E-2	ドイツ語ⅡB		◎	○		
H320-14-2E-2	フランス語ⅡB		◎	○		
H320-15-2E-2	中国語ⅡB		◎	○		
H320-16-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡB		◎	○		
H400-01-1E-1	体育講義			◎		
H400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
H510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
H510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
H510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
H520-01-1E-1	日本語Ⅰ		◎	○		
H520-02-2E-2	日本語Ⅱ		◎	○		

文学部 歴史学科 カリキュラムマップ（その2）

科目ナンバリング	科目名	学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学における基本的知識、またそれぞれの研究分野に固有の思考方法についての概要を説明することができる	歴史学、考古学、民俗学に関する専門性の高い学術論文を読解するとともに、主体的に史・資料を収集し、それをふまえた柔軟な発想と論理的思考、説得力のある表現を用いて、学術的な文章を作成することができる	歴史学、考古学、民俗学の知識や思考方法をもとに課題を発見し、現代社会が直面するさまざまな問題について、史・資料をふまえた発言や議論、解決方法を提示することができる	現代社会の歴史的な成り立ちをおさえつつ、国際的な広い視野をもって今日の地域社会とそれをめぐる問題について理解し、自らが何をすべきかを考え、社会に貢献することができる	実習や史料調査などの経験を通して、自らの特性を活かしつつ共同作業に対して主体的に関与していく中で、真摯な態度と地道な努力を継続する力を持つとともに、共通の課題に対してチームで成果を出すことができる
H610-01-1C-1	日本史概説Ⅰ	◎			○	
H610-02-1C-1	日本史概説Ⅱ	◎			○	
H610-03-1C-1	アジア史概説Ⅰ	◎			○	
H610-04-1C-1	アジア史概説Ⅱ	◎			○	
H610-05-1C-1	ヨーロッパ史概説Ⅰ	◎			○	
H610-06-1C-1	ヨーロッパ史概説Ⅱ	◎			○	
H610-07-1C-1	考古学概説Ⅰ	◎			○	
H610-08-1C-1	考古学概説Ⅱ	◎			○	
H610-09-1C-1	民俗学概説Ⅰ	◎			○	
H610-10-1C-1	民俗学概説Ⅱ	◎			○	
H610-11-3C-2	日本史総合演習Ⅰ		◎	○		
H610-12-3C-2	アジア史総合演習Ⅰ		◎	○		
H610-13-3C-2	ヨーロッパ史総合演習Ⅰ		◎	○		
H610-14-3C-2	考古学総合演習Ⅰ		◎	○		
H610-15-3C-2	民俗学総合演習Ⅰ		◎	○		
H610-16-3C-2	日本史総合演習Ⅱ		◎	○		
H610-17-3C-2	アジア史総合演習Ⅱ		◎	○		
H610-18-3C-2	ヨーロッパ史総合演習Ⅱ		◎	○		
H610-19-3C-2	考古学総合演習Ⅱ		◎	○		
H610-20-3C-2	民俗学総合演習Ⅱ		◎	○		
H610-21-4C-3	日本史論文演習Ⅰ		◎	○		
H610-22-4C-3	アジア史論文演習Ⅰ		◎	○		
H610-23-4C-3	ヨーロッパ史論文演習Ⅰ		◎	○		
H610-24-4C-3	考古学論文演習Ⅰ		◎	○		
H610-25-4C-3	民俗学論文演習Ⅰ		◎	○		
H610-26-4C-3	日本史論文演習Ⅱ		◎	○		
H610-27-4C-3	アジア史論文演習Ⅱ		◎	○		
H610-28-4C-3	ヨーロッパ史論文演習Ⅱ		◎	○		
H610-29-4C-3	考古学論文演習Ⅱ		◎	○		
H610-30-4C-3	民俗学論文演習Ⅱ		◎	○		
H620-01-2E-2	歴史の中の東北	◎			○	
H620-02-2E-2	ヨーロッパ近現代の国家と社会	◎			○	
H620-03-2E-2	江戸から明治へ	◎			○	
H620-04-2E-2	アジアにおける国家の誕生	◎			○	
H620-05-2E-2	伝統アジアの社会と文化	◎			○	
H620-06-2E-2	イスラーム世界の形成と展開	◎			○	
H620-07-2E-2	文化遺産と現代社会	◎			○	
H620-08-3E-2	近現代日本と東アジア	◎			○	
H620-09-3E-2	ヨーロッパ中近世社会史	◎			○	
H620-10-3E-2	アジアの王権と思想	◎			○	
H630-01-2E-1	古文書学Ⅰ	◎		○		
H630-02-2E-1	古文書学Ⅱ	◎		○		
H630-03-2E-1	アジア史基礎講読Ⅰ	◎		○		
H630-04-2E-1	アジア史基礎講読Ⅱ	◎		○		
H630-05-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ	◎		○		
H630-06-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読Ⅱ	◎		○		
H630-07-2E-1	民俗学実習Ⅰ			○		◎
H630-08-2E-1	考古学実習Ⅰ			○		◎
H630-09-2E-1	ギリシア語初級Ⅰ			○	◎	
H630-10-2E-1	ギリシア語初級Ⅱ			○	◎	
H630-11-3E-2	日本史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H630-12-3E-2	日本史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H630-13-3E-2	アジア史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H630-14-3E-2	アジア史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H630-15-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ			○	◎	
H630-16-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題Ⅱ			○	◎	
H630-17-3E-2	考古学の諸問題Ⅰ			○	◎	
H630-18-3E-2	考古学の諸問題Ⅱ			○	◎	
H630-19-3E-2	民俗学の諸問題Ⅰ			○	◎	
H630-20-3E-2	民俗学の諸問題Ⅱ			○	◎	
H630-21-3E-2	日本史専門講読Ⅰ		◎			○
H630-22-3E-2	日本史専門講読Ⅱ		◎			○
H630-23-4E-3	日本史専門講読Ⅲ		◎			○
H630-24-3E-2	アジア史専門講読Ⅰ		◎			○
H630-25-3E-2	アジア史専門講読Ⅱ		◎			○
H630-26-4E-3	アジア史専門講読Ⅲ		◎			○
H630-27-3E-2	ヨーロッパ史専門講読Ⅰ		◎			○
H630-28-3E-2	ヨーロッパ史専門講読Ⅱ		◎			○
H630-29-4E-3	ヨーロッパ史専門講読Ⅲ		◎			○

文学部 歴史学科 カリキュラムマップ（その3）

科目ナンバリング	科目名	学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学における基本的知識、またそれぞれの研究分野に固有の思考方法についての概要を説明することができる	歴史学、考古学、民俗学に関する専門性の高い学術論文を読解するとともに、主体的に史・資料を収集し、それをふまえた柔軟な発想と論理的思考、説得力のある表現を用いて、学術的な文章を作成することができる	歴史学、考古学、民俗学の知識や思考方法をもとに課題を発見し、現代社会が直面するさまざまな問題について、史・資料をふまえた発言や議論、解決方法を提示することができる	現代社会の歴史的な成り立ちをおさえつつ、国際的な広い視野をもって今日の地域社会とそれをめぐる問題について理解し、自らが何をすべきかを考え、社会に貢献することができる	実習や史料調査などの経験を通して、自らの特性を活かしつつ共同作業に対して主体的に関与していく中で、真摯な態度と地道な努力を継続する力を持つとともに、共通の課題に対してチームで成果を出すことができる
H630-30-3E-2	考古学実習Ⅱ			○		◎
H630-31-3E-2	考古学実習Ⅲ			○		◎
H630-32-3E-2	民俗学実習Ⅱ			○		◎
H630-33-3E-2	民俗学実習Ⅲ			○		◎
H630-34-3E-1	ラテン語初級Ⅰ	◎		○		
H630-35-3E-1	ラテン語初級Ⅱ	◎		○		
H630-36-3E-2	ギリシア語中級Ⅰ	◎		○		
H630-37-3E-2	ギリシア語中級Ⅱ	◎		○		
H630-38-4E-3	日本史の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-39-4E-3	アジア史の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-40-4E-3	ヨーロッパ史の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-41-4E-3	考古学の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-42-4E-3	民俗学の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-43-4E-2	ラテン語中級Ⅰ	◎		○		
H630-44-4E-2	ラテン語中級Ⅱ	◎		○		
H640-01-1E-1	博物館概論	◎				○
H640-02-2E-2	自然地理学Ⅰ	○				◎
H640-03-2E-2	自然地理学Ⅱ	○				◎
H640-04-2E-2	人文地理学Ⅰ	○				◎
H640-05-2E-2	人文地理学Ⅱ	○				◎
H640-06-2E-2	地誌学Ⅰ	○				◎
H640-07-2E-2	地誌学Ⅱ	○				◎
H640-08-2E-2	日本文学史Ⅰ	○				◎
H640-09-2E-2	日本文学史Ⅱ	○				◎
H640-10-2E-2	海外研究Ⅰ	○				◎
H640-11-2E-2	海外研究Ⅱ	○				◎
H640-12-2E-1	図書館概論	◎				○
H640-13-2E-1	博物館資料論	◎				○
H640-14-3E-2	日本美術史	○				◎
H640-15-3E-2	ヨーロッパ美術史	○				◎
H640-16-3E-2	生活文化史Ⅰ	◎				○
H640-17-3E-2	生活文化史Ⅱ	◎				○
H640-18-3E-2	日本経済史Ⅰ	◎				○
H640-19-3E-2	日本経済史Ⅱ	◎				○
H640-20-3E-2	西洋経済史Ⅰ	◎				○
H640-21-3E-2	西洋経済史Ⅱ	◎				○
H640-22-3E-2	日本法制史Ⅰ	◎				○
H640-23-3E-2	日本法制史Ⅱ	◎				○
H640-24-3E-2	西洋法制史Ⅰ	◎				○
H640-25-3E-2	西洋法制史Ⅱ	◎				○
H640-26-3E-2	日本思想史Ⅰ	◎				○
H640-27-3E-2	日本思想史Ⅱ	◎				○
H640-28-3E-2	図書館情報資源概論	◎				○

文学部 歴史学科 カリキュラムマップ（その4）

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
H710-01-1R-1	教育原理			◎		
H710-02-1R-1	現代教職論			◎		
H710-03-2R-2	教育心理学			◎		
H710-04-2R-2	教育課程論			◎		
H710-05-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎		
H710-06-2R-2	教育方法			◎		
H710-07-2R-2	教育の相談と指導Ⅰ			◎		
H710-08-2R-2	教育の相談と指導Ⅱ			◎		
H710-09-2R-2	教科教育法Ⅰ（社会・地理歴史）			◎	○	
H710-10-3R-2	教科教育法Ⅰ（社会・公民）			◎	○	
H710-11-3R-2	教科教育法Ⅱ（社会・地理歴史）			◎	○	
H710-12-3R-2	教科教育法Ⅱ（社会・公民）			◎	○	
H710-13-3R-2	教科教育法Ⅲ（社会・地理歴史）			◎	○	
H710-14-3R-2	教科教育法Ⅲ（社会・公民）			◎	○	
H710-15-3E-2	教科教育法Ⅳ（社会）			◎	○	
H710-16-3R-2	特別活動の理論と方法			◎		
H710-17-3R-2	介護体験実習			◎		
H710-18-4R-3	教育実習Ⅰ			○		◎
H710-19-4R-3	教育実習Ⅱ			○		◎
H710-20-4R-3	教職実践演習（中・高）					◎
H720-01-1R-1	博物館教育論			◎		
H720-02-2R-1	生涯学習概論			◎		
H720-03-2R-1	博物館経営論			◎		
H720-04-3R-2	博物館資料保存論			◎		
H720-05-3R-2	博物館展示論			◎		
H720-06-3R-2	博物館情報・メディア論			◎		
H720-07-3R-3	博物館実習Ⅰ（学内実習）			○		◎
H720-08-3R-3	博物館実習Ⅱ（見学実習）			○		◎
H720-09-3R-3	博物館実習Ⅲ（館園実習）			○		◎
H730-01-3R-2	図書館情報技術論			◎		
H730-02-3R-2	図書館サービス概論			◎		
H730-03-3R-2	情報資源組織論			◎		
H730-04-3E-2	図書・図書館史			◎		
H730-05-4R-3	図書館制度・経営論			◎		
H730-06-4R-3	情報サービス論			◎		
H730-07-4R-3	情報サービス演習A			◎		
H730-08-4R-3	情報サービス演習B			◎		
H730-09-4R-3	情報資源組織演習			◎		
H730-10-4E-3	図書館情報資源特論			◎		
H730-11-4E-3	図書館施設論			◎		
H740-01-3R-2	学校経営と学校図書館			◎		
H740-02-3R-2	学校図書館メディアの構成			◎		
H740-03-3R-2	学習指導と学校図書館			◎		
H740-04-3R-2	読書と豊かな人間性			◎		
H740-05-3R-2	情報メディアの活用			◎		
H750-01-1E-1	市民活動論			◎		
H750-02-2E-1	教育工学実習			◎		
H750-03-2E-1	ボランティア活動			◎		
H750-04-2E-1	生涯学習論			◎		
H750-05-2E-1	スポーツ指導論			◎		
H750-06-2E-1	地域構想論			◎		
H750-07-2E-1	地域福祉論			◎		
H750-08-2E-1	地域スポーツ論			◎		
H750-09-3E-2	スポーツマネジメント			◎		
H750-10-3C-2	社会教育課題研究			○		◎
H750-11-3C-2	社会教育実習			○		◎
H750-12-3C-2	教育調査実習A			◎		
H750-13-3C-2	教育調査実習B			◎		
H750-14-3R-2	現代社会と社会教育			◎		
H750-15-3E-2	市民性育成の教育論			◎		
H750-16-3E-2	地域教育論			◎		
H750-17-3E-2	地域政策論			◎		
H750-18-3E-2	地域文化論			◎		
H750-19-3E-2	地域社会論			◎		
H750-20-4R-3	社会教育計画			◎		